

# 海外子女教育

3

2022 No.589

特集1 AG5だより

在外教育施設から  
未来をひらく

今月の顔  
田渕 大さん  
俳優

受け入れ校紹介  
昭和学院中学校・高等学校

海外校シリーズ  
北京日本人学校  
トウールーズ補習授業校

特集2

帰国生の母親たちの  
ボランティア

自分たちの体験を  
多くの人と分かち合う



大学  
進学先

(2021年3月卒業生 大学進学実績)

北海道大学、東京工業大学、筑波大学、大阪教育大学、岩手大学、島根大学、北海道教育大学、滋賀大学、札幌市立大学、公立千歳科学技術大学、都留文科大学、神戸市外国語大学、高知工科大学、札幌医科大学、長野県立大学、国際大学IPUニュージーランド、カレル大学、国立マサリク大学、国立ペーチ大学、国立セグド大学、国立センメルウィス大学、国立デブレツェン大学、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、東京理科大学、国際基督教大学、学習院大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、南山大学、関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、京都産業大学、近畿大学、龍谷大学 その他多数

# Be Ambitious

## クラークなら英語を強みに才能が開花する

クラークの国際系コース・専攻なら圧倒的な英語授業数とディスカッション中心の実践的な授業、そしてレベル別クラス編成という最高の環境で、更に英語力を伸ばせます。



1 全日制高校の3～4倍!  
週最大20コマの  
実践的英語授業!

2 採用率2%!  
質の高いベテランの  
ネイティブ教員陣。

3 海外大学との連携授業、  
キャリア体験、  
国際交流の機会も!

4 英語以外の多彩な  
コース別授業も開講  
※キャンパスにより設置コースは異なります



夢・挑戦・達成

学校法人  
創志学園

クラーク記念国際高等学校

お問い合わせ  
資料請求



0120-833-350

www.clark.ed.jp

クラーク高校

検索



# スイスで学び、世界へはばたく



## 安全で国際色豊かな環境・レザン

学校のあるレザンは、レマン湖の東に位置する美しいリゾート地です。世界数十か国から留学生が集います。



## ボーディングスクールの3年間

スイス公文学園高等部では全生徒が寮生活を送ります。親元を離れ、共同生活を通して、他人を尊ぶ姿勢、自己責任と自治の精神、自分の行動・言動に対する責任感を養います。



## 海外の大学に進学しても学べる英語力

生徒本人が考え、論理的に英語で表現する力を身につけることに力を入れています。ネイティブスピーカーによる少人数制の英語教育、校内の公用語は英語、海外の大学で学べる英語力を身につけます。



## KLAS生の多彩な進路

◎2020-2021入試において、日本の大学では、総合型選抜と学校推薦型選抜で合わせて74%の卒業生が合格しています。  
海外(英国・カナダ・オーストラリアなど)の大学には10名が合格しています。

◎進路も文系に限らず、理工系、医歯学系、芸術系など多彩。

## Online 学校説明会

4/10 日	5/22 日
6/19 日	7/16 土
8/21 日	8/28 日
9/17 土	9/25 日
10/16 日	10/30 日
11/20 日	12/3 土

- 事前申込みが必要です。
- 新型コロナウイルスの感染状況によっては、説明会日程が変更等になる場合があります。随時、WEBサイトでご案内しますので、事前にご確認をお願いします。



2022年度1学期(7月)からKLASで学ぶ。  
新しい世界を切り開きましょう。

スイス公文学園高等部 (KLAS) 転編入試験

**5月15日 日** に  
実施します。 ●詳細はWEBサイトで



**スイス公文学園高等部**  
Kumon Leysin Academy of Switzerland

- Route de Versmout 6, C.P.110, CH-1854 Leysin, Switzerland  
(スイス連邦ヴォー州レザン CH1854)  
TEL.+41-24-493-5335 Fax. +41-24-493-5300 E-mail: klas@klas.ch
- 資料の請求・お問合せは  
スイス公文学園 広報室 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル12階  
TEL.03-6836-0078 E-mail: klas-inquiry@kumon.co.jp



YouTube  
公式チャンネル

スイス公文学園高等部の生徒たち

# 海外からも、首都圏の難関校にチャレンジできる 早稲田アカデミー オンライン校

最高レベルの  
志望校別対策



双方向Web授業

## 「海外からも、首都圏の難関校受験にチャレンジしたい…」

詳細・お申込はこちら

そんな方に向けた待望のサービスを新年度は4月より開講します。  
これまでに培った「双方向Web授業」の経験とノウハウを結集して、  
対面と変わらぬ志望校別対策授業をご自宅で。

講座受講生 滞在国外(例)  
シンガポール・タイ・上海・  
ドイツ・ロシア・アメリカ



### ■小6対象 NN志望校別コース

開成クラス	麻布クラス	武蔵クラス	桜蔭クラス
女子学院クラス	雙葉クラス	早実クラス	早稲田クラス
早大学院クラス	慶應義塾普通部クラス	駒場東邦クラス	渋谷幕張クラス

### ■中3対象 必勝志望校別コース

筑駒必勝クラス	開成必勝クラス	国立必勝クラス
早慶必勝クラス	難関必勝クラス	

## 早稲田アカデミー 海外校（7校舎）

詳細はこちら10か国23都市において  
早稲田アカデミーの教育ネットワークを広げています。



### 海外校

ロンドン校【イギリス】  
ニューヨーク校【アメリカ】  
シンガポール校【シンガポール】  
インター校【シンガポール】  
7区校【ベトナム】  
ビンタン校【ベトナム】  
台北校【台湾】

その他世界各地に海外提携塾があります。



### 小学生・中学生 対象

## Web帰国生対象入試報告会

帰国生入試をお考えの保護者の方を対象に、最新の入試動向や対策について、早稲田アカデミー国際部よりお伝えします。

詳細はこちら



### 新小学6年生 対象

## NN志望校別コース 志望校別オープン模試

完全志望校別模試で現在のお子様の実力・合格可能性を判定します。ライバルより一歩早く、一歩前へ。  
※オンライン校受講資格試験を兼ねます。

詳細はこちら



### 新中学3年生 対象

## 必勝志望校判定模試

開成高、国立附属高、早慶附属高などの難関高校志望者を対象としています。現時点での学習到達状況における合格可能性を、判定させていただきます。  
※オンライン校受講資格試験を兼ねます。

詳細はこちら



### 新小学6年生 対象

## 帰国生 英語力判定テスト

帰国生入試に向けて、現在の英語力を判定します。  
※海外ご自宅でご受験いただけます。  
※海外からもご受講いただける「志望校対策英語講座」のクラス分けテストを兼ねます。

詳細はこちら



## 海外生・帰国生教育 法人向けサービス開始

早稲田アカデミーは、海外在住で帰国後に日本の中学校・高校へ進学予定のお子様を積極的にサポートしています。  
海外への赴任前・赴任中・帰国後のお子様の教育に関して、人事ご担当者様に代わってバックアップ致します。  
※入会費・年会費は一切かかりません。  
詳しくはホームページをご確認ください。

詳細はこちら



2022年 帰国生合格実績 Webで公開中！



早稲田アカデミー

お申し込み・お問い合わせ・資料請求はお気軽にどうぞ。

お電話で 国際部 +81-3-5954-1161

パソコン・携帯で 早稲田アカデミー 帰国生

検索



# 海外子女教育

No.589 2022

3

\*表紙写真

トゥールーズ校幼稚園クラス  
(トゥールーズ補習授業校)



公園で太極拳をする人々 (中国・北京)

## C O N T E N T S

- 2 今月の顔 田淵 大さん (俳優)
- 4 特集1 AG5だより 在外教育施設から未来をひらく
- 16 特集2 帰国生の母親たちのボランティア  
——自分たちの体験を多くの人と分かち合う
- 25 連載 「KANJI」は面白い! Interesting and unique kanji
- 26 ◆受け入れ校紹介～学校会員ファイル(228)◆ 昭和学院中学校・高等学校
- 28 連載 家族／クロスカルチャー  
「我が家」をホームタウンに (後編)
- 31 連載 ことばキャンプ マイネーム イズ モゴモゴ……
- 32 海外校シリーズ | 北京日本人学校  
| トゥールーズ補習授業校
- 36 オススメの一冊
- 37 聞いてみよう! 子どもの教育 海外子女教育振興財団 教育相談員 佐々 信行  
—子どもはアメリカの現地校に通っていますが、先生とうまくやれていないようです。どうしたらよい  
のでしょうか。
- 40 連載 1都1道2府43県めぐり 島根県
- 41 海外子女教育振興財団 教育相談
- 42 新連載 JOES Davos Next
- 44 ニュース お知らせ
- 46 連載 挑戦! にほごんの日本語検定
- 48 2021年度『海外子女教育』総目次 2021年4月号(第578号)～2022年3月号(第589号)

\*維持会員企業・団体所属のかたはウェブサイト上 (<https://joes-kaiin.jp/joesportal/>) でも閲覧いただけます。  
閲覧にあたって必要となるグループIDは、所属先の企業・団体へお問い合わせください。



公益財団法人

海外子女教育振興財団

海外子女・帰国子女教育の振興をはかるために、海外で経済活動を展開している企業・団体によって1971年に外務省および文部省(現 文部科学省)の許可を受け財団法人として設立されました。それ以来、政府の行う諸施策および維持会員の要望に相呼応して幅広い事業を行っています。2011年4月1日に公益財団法人に移行しました。財団の事業は、おもに維持会員からの会費によって成り立っています。財団のサービスはどなたでもご利用いただけますが、維持会員の皆様には有料サービスを無料または割引にて提供しています。(維持会員一覧表 <https://www.joes.or.jp/kaiin/>)

田渕大さんは、イギリスを拠点として活躍する俳優だ。映画や舞台に出演するほか声優としても活躍し、小さな子どもには英語版の『チャギントン』のハンゾーや『機関車トーマス』のヒロの声でもおなじみ。多国籍企業のCMや二〇一九年ラグビーW杯の試合前に流れる映像のナレーションなど、多方面で注目されている。

## 高校でイギリスに留学、 大学でミュージカルに出会う

日本で生まれ育った田渕さんが渡英を決意したのは高校進学の時だった。子どものころから「外の世界」への憧れはあったが、中学には帰国子女が多く、話を聞いて思いが膨らんだそうだ。

しかし憧れの留学生活は厳しかった。英語力がなく、何が宿題なのかわからない。よりどころはイギリスで始めたラグビーだった。「中学のときにバスケットボールで培ったステップが役立ちました」

十六歳といえばイギリスでは義務教育終了全国統一試験(GCSE)、二年後には大学進学のためのAレベル試験がある。渡英してすぐに科目を選択しなくてはならず、語学力のハンディから理系の科目を選んだが、大学進学が近づく、「このまま理系に進むのか」と悩む。さらに「日本のことを質問されても答えられなくて歯がゆい」思いをしていたので、帰国子女枠で日本の大学を受験した。

「願書と共に高校でのスポーツやチャリテ

ありのままの自分  
を受け入れ  
世界の舞台へ



たぶちだい  
**田渕大さん**  
俳優

愛知県出身。千葉県の暁星国際中学校を卒業したあと、1989年にイギリスの高校へ留学。慶應義塾大学文学部哲学科を卒業後、イギリスの演劇学校Rose Bruford Collegeへ再留学。フランスの名優フィリップ・ゴーリエのワークショップなどに参加したのち、ロンドンを拠点として俳優・声優活動が続ける。舞台『タンタンの冒険旅行』『戦場の7人』（ジョシー・ローク演出）『外套』、Netflixのドラマ『Giri/Haji』などのほか、声優としての出演作品も多数。妻はドイツ人で、13歳と8歳の2人の子どもがいる。





イー活動など、自分をアピールするファイルを送付したら、面接のときに話のきっかけになり、役立ったと思います」

大学時代は、ミュージカルのサークル活動に情熱を注ぎ込んだ。原体験は十五歳のころに劇団四季の『キャッツ』を見たこと。すごい衝撃で、町が変わって見えた。だが自分が演劇にかかわるとは思っていなかった。

「演劇部って女の子が多いというイメージがあったし、恥ずかしくて」

でもこのサークルは部員七十人以上の大所帯で、半分は男性だった。脚本から演出まですべてオリジナルで公演。田渕さんは初めて舞台に立った。「もう青春！という感じ」で、夏休みも毎日活動した。

## コンプレックスが個性に

周囲が就職活動を始めるところ、「僕は演劇を続けたい」と思った。幸い親も応援してくれたが「演劇をやるなら基礎を学べ」と助言される。そこで田渕さんは、演劇の歴史の歴史が深いイギリスに再度留学することに。

高校の四年間で英語力もつけたからことばの方は大丈夫だろうと思っていたが、そうはいかなかった。

「それはたいへんで、やっでもうた」と思いました（笑）

しかもその学校はイギリスの伝統的な演劇スタイル、つまり、声で聞かせる。方針。日常会話と、舞台から観客に伝えるのはまったく違う。シェイクスピアに原語で取り組むが、



Theatre Ritesの公演 “Paradise” より



Southwark Playhouseの公演 “Usagi Yojinbo” より

先生には「君の英語は日本語訛りがあるし、この国では無理」と言われてしまった。

「自分の発音や文化の違いを負い目に感じ、『イギリス人にならなくてはいけない』と苦しみました」

しかし三年生のとき、誰よりも早くエージエントから「君は面白い」と声がかかった。ロンドンの演劇界の現場には、外国人も受け入れる多様性があった。

「三十代は舞台づけ」で、舞台版『タンタンの冒険旅行』や『戦場の七人』、多言語が飛び交う『外套』など数々の舞台をこなし、イギリス国内だけでなくドイツの演劇祭、南米や中国、イスラエルでも公演を行った。

「自分がコンプレックスに思っていたことが、ユニークだと受け止められる。違うことが大事だと言われる。この職業は、人がどう見るか評価を気にしがちですが、欠点も含めたありのままの自分を受け止めたら、自由になりました」

仲間の導きで声優の仕事も始めた。日本人で演技力があり英語の本質も理解できる声優は、ロンドンでは稀なので、引っぱりだこだ。コロナ禍でゲームのナレーションの仕事も増えた。

「大きな目標を立てても思い通りにはいきませんでした。流れて身を任せたら、ここまできました。さまざまな才能のある人にも出会いましたが、最も大事なのは、努力を続ける才能。かもしれません」

（取材・文）松島あおい

在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業 (<https://ag-5.jp>)



シンガポール日本人学校チャンギ校 「調べたことを伝えよう」

# 特集1 在外教育施設から 未来をひらく

二〇一七年度に海外子女教育振興財団が文部科学省の委託を受けて始めた「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業（略称：AG5）」が、五年の事業期間を終える。これに伴い、本年一月六日に東京・愛宕の海外子女教育振興財団において、座長の佐藤郡衛先生をはじめ運営指導委員の先生が、同財団の中村雅治相談役らが集まり、まとめの会を開いた。

本誌の巻頭で連載してきた「AG5だより」も最終回を迎えることとなり、このまとめの会で報告された内容の特集梓でお送りする。

当初は五つだったプロジェクトが八つに増え、また二〇年からは新型コロナウイルスの影響により、それまでは（ときには海を渡って）対面で行われていた活動をオンラインに切りかえる必要が生じた。だがそれは同時に、リモートでの教育や支援の可能性をひらきもした。なかには日本国内の学校に先駆けるような成果も生まれてきた。未来世代が世界で活躍していけるように、こうした事業を国内外で継続していく方策が問われている。

なお、詳しい研究経過や成果等についてはAG5のサイト (<https://ag-5.jp>) をご覧いただきたい。



まとめの会の様子



**佐藤** まずどういう経緯でこのAG5が始まったのか、中村相談役からお話ししていただくことから始めたいと思います。

**中村(雅)** 海外子女教育振興財団では二〇一一年に創立四十周年記念事業の一環として、「帰国児童生徒に関する総合的な調査研究報告」を佐藤郡衛先生に座長を依頼してまとめていただきました。そのなかで新たな教育に向けた三つの視点として、適応のための教育、国際教育、グローバルな学力の育成というものを提示していただきました。特にグローバルな学力の育成という視点では、批判的思考力、問題解決力、コミュニケーション

「グローバル人材」の育成は時代の要請



さとう ぐんえい  
**佐藤 郡衛**

東京学芸大学副学長、目白大学学長を歴任し、現在は明治大学特任教授。AG5運営指導委員会委員長

ション力、協働能力、想像力を高める教育をすべきではないかと。そのための取り組みが一三年の、蘇州の日本人学校でのグローバル時代にふさわしい新たな創造をしたいという要望にこたえるための支援です。アクションリサーチ型の取り組みを行うため、まず全校の実態調査から始めました。また、一四年には香港日本人学校から学校改革への助言を求められ、日本版のIB(PYP\*)的な取り組みをご提案いたしました。具体的には四年生からグローバルクラスという特別なクラスを新設し、教育内容も学習指導要領に準拠しながら探究学習を日本語と英語の両言語で学ぶグローバルスタディーズという科目を新設。加えて、英語力の向上をはかるため、理科と数学を英語で学ぶイマージョン教育を導入しました。



なかむら まさはる  
**中村 雅治**

海外子女教育振興財団の専務理事／理事長を経て、現在は同財団の相談役

この間、国内では急激にグローバル化が進展する社会における教育改革が論議され、国の日本再興戦略でも在外教育施設における質の高い教育の実現および海外から帰国した子どもの受け入れ環境の整備ということが明確に謳われるようになっていきました。そこで一六年四月に発足させたのがG-ONEプロジェクト(Global Overseas New Education Project)というもので、在外教育施設におけるグローバル人材育成等の研究を、蘇州や香港で取り組んできたことや補習校に対する支援も含めて一括して行っていくと考えたわけです。



香港日本人学校グローバルクラス6年生「地質学習」

- 材育成強化戦略」を検討するタスクフォースが設置され、一六年五月に「在外教育施設グローバル人材育成強化戦略」がまとめられました。具体的提案としては、「日本人学校等のグローバル拠点としての活用・発信強化」「高度グローバル人材育成拠点としての日本人学校の教育水準の強化」「派遣教員の確保・充実、質の確保」「教育面における学校運営との連携強化」というようなことが示されました。そして、文科省からの委託を受けて「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」AG5を一七年四月にスタートさせました。
- 佐藤** AG5は、Advanced Global Five Projectsの略です。最初は次の五つのプロジェクトから始めました。
- ① 日本人学校における高度グローバル人材の基礎的資質形成のためのプログラム開発
  - ② 日本人学校における日本語教育プログラム開発
  - ③ 日本人学校における教員(学校採用教員)の指導力向上のためのプログラム開発
  - ④ 補習授業校における日本語能力向上のためのプログラム開発
  - ⑤ 日本文化発信の拠点形成プログラム開発

\*1 PYP 国際的カリキュラムであるIB(International Baccalaureate)の一部で、3歳～12歳を対象とするPrimary Years Programmeのこと。

\*2 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/clarinet/002/\\_icsFiles/afieldfile/2016/09/08/1376422\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/_icsFiles/afieldfile/2016/09/08/1376422_2.pdf)

この⑤は日本語と日本文化の発信プログラムの開発と学校の図書館を活用した文化交流のプログラムの二つを行いました。一九年になるとICTを活用した遠隔での教育の質向上のためのプログラム開発と特別支援教育に関する遠隔指導の実施に向けた実践的研究が加わって、八つのプロジェクトになりました。

もともとグローバル人材ということだったんですけれども、それと同時に在外教育施設の課題解決も含めて、新しい在外教育施設の方向性なり新しい教育の姿を見出したいということ、ある程度の成果は出せたのではないかと考えています。

それでは、それぞれのプロジェクトについて、ご担当いただいた先生から発表していただきたいと思います。

## 日本人学校はグローバルで 探究的な学びに最適

### 日本人学校における高度グローバル人材の基礎的資質形成 のためのプログラム開発

植野美穂

二〇一六年から香港日本人学校香



うえの みほ  
**植野 美穂**  
海外子女教育振興財団教育  
相談室長



バリ日本人学校研究紀要「世界で活躍するグローバル人材の育成 ～「対話的な深い学び」による授業改善を通して～」



「日本人学校における「探究学習のすすめ」～実践ガイドブック～ 第1部 理論編」  
<https://ag-5.jp/report/theme1/study/detail/138>

港校からの要請で特色あるカリキュラムの開発に取り組んでいました。

その翌年にAG5が立ち上がったときに考えたのが、この香港での成果からグローバル型能力を身につけるような特色ある教育(グローバルスタディーズ)を他の学校にも展開していくことでした。つまり日本人学校には日本の国内の学校よりもすぐく多様な子どもたちが集まっていますし、異文化にあることで、さまざまな問題・課題をグローバルに考えることができます。日本人学校こそ教科の枠を超えてグローバルな視野で探究的な学びを実現する場であるはずなので、シンガポール、パリへと広げていったわけです。

探究学習については、子どもたちが調べて発表して終わりと捉えられていることがありますが、たんなる調べ学習とは違い、子どもが自ら課題を発見・追究し、議論し、答のない新たな課題を生み出して取り組んでいくというサイクルです。そのような本来の意味での探究学習はどう

あるべきか、各日本人学校で研究開発をしていただきました。

シンガポール日本人学校の場合もともと現地理解教育を中心に持続可能な社会のための教育を中心とした総合学習に取り組んでいました。AG5に加わってからは、IBの考え方をとり入れて、子どもにとって身近なシンガポールが抱える問題を切り口に、子どもたちの価値観や行動の変容が見られるような深い学習活動へと発展できたと思います。

またパリ日本人学校では、二十一世紀型スキルの育成を目指した汎用性がある小中一貫探究学習のカリキュラム開発に取り組んでいます。一九年度にはテーマに沿ったフィールドワークに出かけることができましたが、二〇年度はコロナの影響もあり日本国内の五つの研究機関によるオンライン講座をもとに子どもたちが「学びの地図」を作成し、最終的には「パリ日提言フォーラム」を開いてそこで発表するに至りました。

これらの実践を他の日本人学校に

紹介するため、日本人学校ならではの探究学習のよさや難しさ、探究学習では教科活動をどう行えばいいのか、探究学習のカリキュラムを開発していく具体的手順などを含めた『探究学習のすすめ』という実践ガイドブックをまとめました。すでに理論編ができあがっていますが、今年度は香港、シンガポール、パリの実践を具体的に紹介する実践編をまもなく発行する予定です。

課題としては、さまざまな交流を試みたなかで、学校を越えて同じようなテーマについて深く子ども同士が学び合う場を設けるのは難しいように感じました。

さらに学校独自で特色あるカリキュラムや科目をつくった場合、日本人学校の先生は入れかわりが激しいので、それをつなげていくのがすごく大きな課題になります。そのためたとえば香港では新しく赴任した先生にもわかるように、「グローバルスタディーズはどのようなものか」「何を大切にしているのか」「どう展



みせちかこ  
見世千賀子

東京学芸大学国際教育センター准教授

二〇一七年から一九年まで台湾の台北、台中、高雄の三つの日本人学校で行った事業です。

まず台北では、三割を超える子どもたちが国際結婚家庭の子でもで、かなり前から日本語指導が必要で、二年生を対象に週一回、放課後に三

## 見世千賀子

日本人学校における日本語教育プログラム開発(1)

## 日本人学校で効果的に日本語を学ぶ

開しているのか」「子どもたちが主体的に学べるための学年ごとの評価の方法とは何か」についてきちんとまとめたものを学校内で作成しましたが、それを他の学校などにも使っていただけのようにつくり変えていく必要があると思います。

十五分、日本語の補習の時間を設けていました。今回のプロジェクトではそうした取り組みをベースとしつつ、日本語指導が必要な子どもが在籍学級での教科学習によりいっそう参加できるようにすることを意識したプログラムをつくりました。具体的には、国語と算数と総合的な学習のなかで、語彙とか文章の理解とか子どもがつまずきやすい箇所を取り上げて、一回あたり二十分程度でできるような活動案を学年ごとに二十回分ずつつくりました。通常の授業に先立って学習しておくことで子どもたちがより積極的に授業に参加で



台北日本人学校 iPadを活用した授業の様子



『日本語補習クラスのための学習活動案集 ～台北日本人学校の実践から～』  
<https://ag-5.jp/report/theme2-1/study/detail/92>

台中日本人学校  
ICT機器やデジタル教科書を算数や国語などで有効に活用

『在籍学級での日本語支援の視点を取り入れた授業づくりの手引き ～台中日本人学校の実践から～』  
<https://ag-5.jp/report/theme2-1/study/detail/97>

きるようになり、先生がたにもそうした先行的な学習の効果への気づきが生まれるなどの成果がありました。

台中でも、半数近くが国際結婚家庭の子でもたちで、日本語指導が必要な子どもが多く在籍しています。

そのため、中国語の授業の裏の時間で日本語の指導を一年生から六年生まで、週一回行っています。今回のプロジェクトでは、在籍学級での日本語支援の視点を取り入れ、より子どもたちの学力を上げていく試みを行い、『在籍学級での日本語支援の視点を取り入れた授業づくりの手引き』を開発しました。ひとりの子ども



高雄日本人学校 日本のアニメキャラクターなどを用意しておき、児童の興味に合わせて使用できるようにする。

もを想定していただいて、日本語に關してどのような手立てがあればよい授業に参加できるようにするかを意識したうえで、授業をどのようにつくっていくか、手順も含めてわかりやすく示しています。

高雄日本人学校では、現地校の中に間借りした校舎があるという環境を生かして、派遣教員の先生が現地校の五、六年生を対象に日本語や日本文化を教える活動をしています。

その際に活用する教材を開発しました。子どもたちが興味を持ちやすい日本のアニメや食べ物などの画像をとり入れた学習、あるいはゲームやタブレット端末などを活用しながら、楽しく学べるような活動案集をまとめました。こうした取り組みを通して、日本人学校の先生がたは異文化や他者を理解することの重要性や必

要性を肌で実感されています。また、現地の子どもに教えることを通して、自分たちのクラスにいる台湾ルーツの子どもへの理解も進んだそうです。日本人学校における授業においても、日本語の面や文化の違いなどに目が行くようになったという成果がありました。

全体を通して、日本語指導体制を充実させることがまだまだ必要だと思っています。台北では三年生以上の学年では補習が行われていません。少人数だとか個別の指導を必要としている子どもたちもいます。また同時に、台中で行ったような在籍学級での日本語支援の視点をとり入れた授業づくりも、すべての学校で必要だと考えています。

加えて、母語あるいは母文化を大事にしながらか多文化共生を柱にした授業づくりを行っていくことが今後の課題として挙げられると思います。そしてもう一つ日本人学校への派遣教師がよりグローバルな感覚を持つ教師として育っていくために、高雄で行われているような取り組みは非常に有効ではないかと思っています。教師としては言語も違い、負担の大きいところではありますが、その反面、得られるものも大きいと考えています。

## 日本語指導から 多文化共生へ

### 日本人学校における日本語 教育プログラム開発(2)

#### 近田由紀子

台湾での実践を基盤にしつつ、それを発展させるような形で、一九九年度から二一年度までマニラ日本人学校を拠点に大連日本人学校、青島日本人学校が提携・協力して日本人学校におけるバイリンガル・バイカル・チュラル人材育成のためのプログラム開発と、そのための教員研修のプログラム開発、複言語主義を取り入れた総合学習型日本語指導に取り組みました。複言語主義というのは、学習者に焦点を当てて、子どもたちがもともと身につけている第一言語を活用しながら複数の言語を育てていくというものです。多文化共生の学校づくりを含めた日本語指導として取り組みました。

まずマニラ日本人学校、大連日本人学校、青島日本人学校の取り組みですが、この三校は学校の規模も体制も違います。たとえばマニラ



こんだ ゆきこ  
近田 由紀子  
目白大学専任講師

日本人学校では、週一回放課後に日本語学級を開設して学級担任が指導するとともに、在籍学級の授業でも日本語支援をしています。青島日本人学校は日本語指導担当教師が学校組織のなかに位置づけられていて、課外で日本語支援をしていたり、個別に取り出して指導したり、学級に入り込んで指導したりしています。そして学校全体でも取り組んでいます。大連日本人学校は課外での日本語指導はなく、日本語学級もありませんが、在籍学級で日本語支援を行っています。

でもプロジェクトを始めてみると、共通点が多々ありました。一つは体制づくりで、校内研修と関連させることでおのずと多文化共生の学校づくりに向かっていったことです。二つ目は実態把握と評価です。それぞれ個別の指導計画を作成していますし、指導の記録も取っていて、そこからふり返し、次の指導に生かすという、PDCAのサイクルがき



青島日本人学校 オンライン交流会の様子  
(2020年度青島冊子より)



大連日本人学校 インタビューでわかったことを発表・共有。動画・画像など視覚的アプローチで支援を行う。(2020年度大連取り組み報告資料より)



マニラ日本人学校 日本語指導を取り入れた授業実践。小5の総合的な学習で川的环境を改善するにはどうすればいいかを考える。



ちんとできています。三つ目は日本語支援にバイカルチュラルの視点を加えた授業実践です。教科横断型の視点からプランを立てるとか、総合的な学習として単元を組んでいくとかの例があります。具体的には、体験的な活動や表現活動を重視した学校づくりをする、モデル文を使ったやりきりワードを示したりするなどがあります。また日本語支援にICTも活用しました。これらの取り組みのなかで、特にバイカルチュラルな視点を生かした授業実践、たとえば現地素材を使ったり、在留国と日本の文化を比較したりする実践は効果的でした。青島日本人学校では自分のルーツとかかわりのある絵本を紹介しようという実践がありました。在留国だけにルーツを持っている子ばかりでなく、ほかの国にルーツを持っている子どもたちもいます。そこで多様性がさらに広がっていきました。そして子どもたちの自己肯定感が高まったり、自信につながって

いったりという成果が見られました。四つ目は連携・協力です。教職員のチームワークはもちろんのこと、保護者との連携・協力というのが欠かせなくて、三校とも丁寧に保護者とかかわって協力を得ていました。これらの成果を、他の日本人学校や国内の外国人児童生徒等の教育を行っている学校の参考になるのではないかと考え、オンラインでの情報交換会・合同研究会という形で発信しました。このプロジェクトの二つ目の柱である教員研修にもつながっています。ほかの日本人学校や補習校の先生、国内の外国人児童生徒を教えてらっしゃる先生も参加されました。この機会を通して悩みや課題を共有できたことが大きな強みになったんですね。先生たちのネットワークが芽生えてきて、それが力になり始めるところまでこぎつけたのが成果です。

今後の課題としては、三校の成果を他の日本人学校でもぜひ活用して



『日本語学級・在籍学級での教科横断的な日本語指導 ～マニラ日本人学校の対面・オンライン授業の実践から～』  
<https://ag-5.jp/report/theme2-2/study/detail/133>



『多文化共生の学校づくり～青島日本人学校の実践～』  
<https://ag-5.jp/report/theme2-2/study/detail/128>

日本入学校や補習校の先生がたには文部科学省からの派遣教師だけではなく、それぞれの学校が独自に採用した学校採用教員の先生がたがいらっしゃいます。派遣教師の充足率は平均七割から八割ですが、大規模校では五割程度です。学校採用教員の先生がたには新卒のかたも転職してくるのかたもいらっしゃいますが、こうした先生がたの指導力の向上を目指しました。まず二〇一七年に、実際にどういうプログラムが求められているのかを知るために学校採用

### 日本人学校における教員(学校採用教員)の指導力向上のためのプログラム開発

植野美穂

### 若い先生がたを育てる

もらいたいことです。地域の特色に合わせたより魅力的な実践を期待しています。それには支援が必要で、この三年で生まれつつある教師のネットワークとか、先生たちの意欲とか、そういうものを大事にして発展していけたらいいと思っています。

教員が半分近くを占めている上海日本人学校で調査を行ったところ、じつは赴任前研修のニーズが高いことがわかりました。そこで一八年度には上海日本人学校の学校採用教員を対象とした二日間の赴任前研修を行いました。それ以降も、研修内容を改善しながら、海外子女教育振興財団の支援で採用されるすべての日本人学校の教員を対象に続けています。

いま行われているのはワークショップ形式ですが、「もつと時間をかけていろんなワークショップに参加したい」という声も出ています。また基本的な指導力というものを考え直していただくために、教員としての基礎、学習指導に対する基本的なこと、それから事故対応や保護者対応などの仕方をまとめたハンドブックを作成しました。各校で研修を行



学校採用教員の赴任前研修の様子(教科等指導の基本的な授業の進め方について)



さっさ のぶゆき  
佐々 信行

海外子女教育振興財団教育  
相談員

高度グローバル人材の育成といえ  
ば、補習校の子どもたちは自動的に  
複数の言語を使用する文化のなかで  
生活してるわけですから絶好の環境

## 補習授業校における日本 語能力向上のためのプロ グラム開発

佐々信行

## 世界中の補習授業校の 先生が力を合わせる

実際のマニュアルとしてご活用いた  
だいてと思います。



『日本人学校等教員のための初  
任者研修ハンドブック』  
[https://ag-5.jp/report/theme3/  
study/detail/66](https://ag-5.jp/report/theme3/study/detail/66)



ダラス補習授業校 ダラスで自分が見つけたものが、  
日本にいる親戚や友達に伝わるように文を書く。

にあるんですね。ただ、多様な子ど  
もたちが来ているなかで充実した学  
習を重ねることの難しさもある。特  
に日本語の力が違っていている子ども  
たちがいっしょにしていると、先生が説明  
してわからせるような授業では誰か  
にとってはちょうどよくても、誰か  
には難しすぎる、あるいは誰かには  
やさしすぎる。子どもたちの活動を  
中心に、それぞれの持つ力で活  
動に参加することで伸ばせる、そう  
いう授業を組み立てていかなければ  
いけないということになります。そ  
こでこのプロジェクトではまずアメ  
リカのダラス補習授業校の先生たち  
と、具体的に教科の単元を設定して、  
これをどういうふうに進めたいとい  
かと、一つ一つ授業をつくって  
いきました。学習活動計画と呼



『楽しく日本語を伸ばす 補習  
授業校学習活動計画集  
～ダラス補習授業校の実践から～』  
[https://ag-5.jp/report/  
theme4/study/detail/105](https://ag-5.jp/report/theme4/study/detail/105)



『補習授業校児童生徒の学習  
状況調査等報告書』  
[https://ag-5.jp/cms/ag5/  
common/pdf/theme4/  
Gakushujokyochosa.pdf](https://ag-5.jp/cms/ag5/common/pdf/theme4/Gakushujokyochosa.pdf)

んでいますけど、これを皆さんに提  
供して見ていただいたんです。  
そこにだんだんと、見てもらうだ  
けではなく、ダラスの先生がたはも  
ちろんですけど、集まってくださる  
先生がたが学習活動計画をつくる  
ところから参加してくれるようになり  
授業研究会というように参加し  
てもらえるようになりました。結局  
三十一単元分ができました。  
やがて人数が増えてきたので、こ  
の研究会に参加してくださるかた  
で「補習校ネット」という名前のグ  
ープをつくりました。現在は九十四  
校から二五八名の登録があります。  
アメリカ、ヨーロッパはもちろんア  
フリカやオーストラリア、中南米か

らも参加してもらっています。それ  
で毎回、授業とその前後に研究会と  
いう流れで進めて、最後に学習活動  
計画を公開するというような形をと  
っています。それを見ていただいて  
参考にしていただくのも成果です  
けど、こうやって先生たちが集まっ  
て一つのテーマで研究できるように  
なったということが非常に大きな成  
果だといえるのではないかと思います。  
次にもう一つ、こういう授業研究  
にしても何にしても、いちばん必要  
としているのは先生になったばかり  
のかたがたなんですね。補習授業校  
は規模が小さいところも多いので、  
独自で初任者研修を充実させること  
は難しい。そこで二〇年度から私  
たちで計画をして、年に五回ないし六  
回オンラインで研修会をやることに  
しました。二一年度の参加者は一九  
〇名、所属校は七十八校でした。  
三つ目は、補習授業校情報交換会  
というイベントです。二〇年度に、  
どこの学校でもコロナの対応に苦慮  
していた時期に「おたく、ウイルス  
対応はどうしてますか？」みたいな  
ことを聞きたいということがあって、  
声をかけて集まっていたいたのが  
はじめです。やがてウイルスだけじ  
やなくてこういうことはどうなんだ  
というようなリクエストに応じて



次々にやってきましたら、今年の一  
月で三十六回になりました。参加者  
はメーリングリストに登録している  
人だけで三五七人。補習授業校の先  
生たちは時間も余裕もないところで  
生活しているので、同じ仕事をして  
いる人たちと交流する機会がなかっ  
たということで、喜んでいただいて  
います。ここで知り合った人たちが  
自主的に研究会を立ち上げたとい  
うこともありました。そういうもの  
きっかけになったことも、一つの成  
果だと思っています。

## 日系人コミュニティと 手を結ぶ

### —— 日本文化発信の拠点形成 プログラム開発 ——

見世千賀子

日本人学校を、現地の日系社会へ  
の日本語教育、日本型教育、日本文  
化の発信拠点にするという、パラグ  
アイのアスンシオン日本人学校を中  
心にしたプロジェクトですが、二つ  
紹介します。一つは教員研修です。  
二つ目が移住に関する学習について  
です。

まず教員研修については、パラグ  
アイには日本型教育をとり入れてい  
る現地の学校が二校ほどあります。  
日本の教育をしつけや教科学習の面  
などで非常に高く評価して、日本語  
の教育も積極的にを行っています。ま  
たそれとは別に、六つの日系人移住  
地と三つの主要都市に合わせて九つ  
の日本語学校があり、日系の子ども  
たちに日本語や日本文化を学ばせる  
ために教科の学習はじめ日本的な行  
事を取り入れた教育活動が行われて  
います。

そういったことで、現地の学校や  
日本語学校の先生を対象に、アスン  
シオン日本人学校の先生が教員研修  
を行っています。日本人学校の授業  
を参観していただいたり、逆に日本  
語学校に派遣教師の先生が出向いて  
日系人の子どもたちに授業を行った



パラグアイ移住かるた



『わたしたちのパラグアイ  
第3版』

[https://ag-5.jp/report/  
theme5/study/detail/147](https://ag-5.jp/report/theme5/study/detail/147)



『わたしたちのパラグアイ  
第3版 活用事例集』

たことは非常  
に良かったと思  
います。  
ただ、これを  
よりよい関係性  
づくりにつなげ

り、ということをされてきました。  
コロナ以降はオンラインになりました  
が、日本人学校の先生がたがどう  
いうふうに子どもたちに接している  
か、教材をどういうふうに提示する  
かといったことについて、非常に多  
くの学びがあったそうです。  
二つ目が、日系人の移住に関する  
学習に取り組むための教材を多数開  
発して、それらの学習を実施したこ  
とです。子どもたちが楽しく移住に  
ついて学べるような教材、それを通  
して日本語の力も身につけられるよ  
うなものをつくっていかうと取り組  
みました。その過程でパラグアイの  
移住するごころでずとか、パラグアイ  
移住かるたなどを、現地の日系人の  
協会のかたがたにもご協力いただい  
て作成することができました。わか  
りやすい日本語だけではなくてスベ  
イン語もつけています。

また日本人学校の方では、社会科  
の副読本である『わたしたちのパラ  
グアイ』の第三版を作成しました。  
新たな副読本は二部構成にしまして、  
特に第二部では中学生まで含めて全  
学年の子どもたちがパラグアイの日  
系人の移住の歴史について学べるよ  
うな内容にしています。さらに日本  
語学校の子どもたちも使えるよう  
にルビをふったり、わかりやすい日本  
語をつけたりにしています。  
実際、これらの教材を使って、日  
本人学校の子どもたちはパラグアイ  
や現地の日系人社会についての理解  
が深まると同時に、日本国内の外国  
人移民について、また世界の移民の  
人たちについても考えを広げること  
ができて、非常にグローバルな視野  
を持ってこの課題に取り組むことが  
できるようになりました。さらに日  
系人の子どもたちも、日本人として  
のアイデンティティであるとか、自  
分のルーツについてあらためて考え  
直して、これからどう生きていくの  
かを考えることにもつながったとい  
う成果がありました。このプロジェ  
クトを通して、日本人学校を拠点と  
しつつ現地の学校や日系人の日本語  
学校等との新たな関係性が構築でき  
たことは非常に  
よかったです。

ていくためにどうするかが課題になってきます。今回のプロジェクトにおいては現地に優れたコーディネーターがいてくださいました。しかしプロジェクトが終わったあとに継続させていくためには、日本語学校側も受身的にならず、また日本人学校も現地社会に貢献することを自分たちの課題として捉えて、お互いが主体的にかかわっていくこうとする関係性づくりとシステムづくりが必要ではないかと考えています。

## カリフォルニアで「日本のファン」をつくる

### 学校図書館を活用した文化交流

中村雅治

アメリカのカリフォルニア州は日系人も多く、日本語を教えている国公立の学校が二〇〇近くあるんですね。そういう人々と学校図書を紹介して文化交流するような支援活動を目指してスタートしました。

西大和学園カリフォルニア校は校舎とは別棟で図書館を持っているので安全対策が取りやすいメリットが

あります。しかしアメリカなので、はじめは安全対策の観点から、交流校の生徒あるいは教師、保護者を対象に、西大和の生徒さんが、たとえば茶道の歴史や作法について学習して、それを英語で発表する。そうした活動にそれを書いてある図書をセットにして紹介することを行いました。それが非常に効果が高いというので、けん玉だとかお花だとか、いろんな日本文化を紹介する活動を行っています。現地校から注文を取って図書を貸し出し、貸し出した図書の活用成果をフィードバックしてもらおうという流れが出てきています。二〇二〇年のオリンピック・パラリンピック前には、オリンピック・パラリンピックの歴史コーナーを設けたりもしました。

コロナ禍になってから対外活動は止まっておりますが、西大和学園の



けん玉貸し出しセット

### 子どもたちが心待ちにする遠隔合同授業

### ICTを活用した遠隔での教育の質向上のためのプログラム開発

後藤彰夫

二〇一九年度から、メキシコのア

地域的にも離れている補習授業校数校とデジタル図書を活用した取り組みを行ってらっております。デジタル図書はオンラインでサービスが受けられることに加え、音声で読み聞かせる機能や検索機能もあり、学習者の個々のニーズに合わせた使い方ができるのではないかと、引き続き研究を続けてもらっています。

さらに西海岸にはカリフォルニア州を含め大きな日系人コミュニティもあり、公立図書館にも数多くの日本の図書、新聞や月刊誌、漫画も含めてそろっているようなところがあります。そういう図書館とうまく連携していきたいと考えています。

文化交流を通じ、日本のファンをつくる活動の一つとして学校図書館の活用もあるのかなと思っています。



ことうあきお 後藤 彰夫

海外子女教育振興財団教育相談員



アグアスカリエンテス日本人学校との合同遠隔授業 (サン・ホセ日本人学校)

グアスカリエンテス日本人学校とコスタリカのサン・ホセ日本人学校のペア、そしていずれもブラジルにあるリオ・デ・ジャネイロとサンパウロ日本人学校のペア、つまり二グループ四校で、学校間で子どもたちを結び、合同遠隔授業や合同遠隔教員研修を行ってきました。

成果は大きく分けて三つあります。一つ目は、遠隔授業の形態を「一斉型・発表型・発問型・対話型」に分類して整理するなかでそれぞれの特



徴を明らかにして、授業の流れや工夫、教師の役割、必要な機材やツールをまとめることができたことです。二つ目は、合同遠隔授業で直面した課題に対して、問題点と解決のための行動、その結果を二十八種類の「知恵の蔵（遠隔授業におけるパターンランゲージ）」としてまとめることができたことです。三つ目は、合同遠隔授業の実践のなかでオンラインでの子どもの顔出し（肖像権）の問題をどのようにしていくのかなど新しい挑戦が生まれてきたことです。

合同遠隔授業を重ねれば重ねるほど、他校の子どもたちといっしょに授業を受けられることを期待し、積極的に相手のことを尊重し、理解していこうという子どもたちの姿が見られました。



サンパウロ日本人学校の児童のクイズに答えるリオ・デ・ジャネイロ日本人学校の児童

一方、教師の側では、子どもの集

中力を継続させる工夫、画面に映らない子どもを把握する方法、不安定なネット環境への対応、授業準備の時間の確保、オンラインに適さないと考えられる授業の準備や対応、そして授業以外で学校が担うべき人間関係づくりや集団行動の指導などをいかに補完していくかなど、さまざまな課題が見えてきました。各校の先生がそれぞれひとりとばかりで目の前の子どもたちを指導・支援するのではなく、学校を越えて先生がたを結び、子どもたちを結ぶ教育を実践することで、より効果的な教育を提供できると考えています。

研究の二年目には突然のコロナ禍により学校が閉鎖されました。しかし「子どもたちの学びを止めない」ために、四校ともいち早くオンラインの授業を立ち上げました。これは、「遠隔教育」に取り組んでいた自信と研究成果によるものです。

この成果をそれぞれの地域の現地校等へフィードバックしていただき、時間軸を越えた結びつきと継続的な実践を期待しています。また二グループ四校での実践から、他校を巻き込んだ面的な広がりが生まれてきています。この継続と拡張から、合同遠隔授業がさらに深まることを期待しています。

## 国内と海外を結んだ 特別支援

### 特別支援教育に関する 遠隔指導

新原和正

日本国内でも通常学級に在籍している児童生徒のなかに特別な配慮を要するお子さんが約六・五パーセントいるといわれますが、二〇一八年度に文部科学省と国立特別支援教育総合研究所が日本人学校に対する調査を行った結果、日本人学校でも約四パーセントのお子さんが在籍しているという状況が明らかになりました。そこで私たちも日本人学校の実態として、特別支援学校や支援学級などでの指導経験がある教員がどれくらいいるのかということ調べたところ、「まったくいない」もしくは



しんはら かずまさ  
**新原 和正**  
海外子女教育振興財団  
総務チームリーダー



遠隔によるコンサルテーションの実施

「一人」という学校が半数以上でした。特別支援の免許を持っている先生となると「ゼロ」もしくは「一人」というところが七割に近い。さらに特別支援教育に関する専門機関とか相談機関等が現地には少ない。言語の問題もありますが、連携が可能な医療機関というものも少ない。そこで遠隔システムを活用し、日本国内の特別支援学校と協働してコンサルテーションの実施と効果の測定を行うプロジェクトを実施しました。

だいたい月一回から二回ですが、対象となるお子さんの状況や課題について日本人学校から情報をいただきまして、お子さんの状況を把握したうえで支援学校からのアドバイスをやってきています。

成果としては、日本人学校が支援学校と協働して取り組むことで校内の支援体制の強化にも役立ったと感じています。そして、日本人学

校では三年で先生がたが入れかわる

ということ、引き継ぎが本当に重

要だと認識いただいたりとか、学

校内に特別支援教育に対する文化を

持つ、最初から難しいとかできない

とかいうスタンスではなくて、「日

本国内と同じようにやるのがあたり

まえ」という意識づけが大事だとい

う認識を持っていたたりしたこ

とがよかったと感じています。今回

はハノイと北京の日本人学校にご協

力いただきましたが、全職員の校内

研修の一環と位置づけていただいて

チーム力の向上にもつながったとか

先生たちの間で子どものポジティブ

なところを共有できる雰囲気醸成

につながったとも聞いています。

一方、国内側の支援体制のさらなる

強化、また日本人学校のさらなる

体制強化、特別支援教育に携わる人

員の配置等が課題だと感じています

そして、やはり時差への対応や不安

定な通信環境の改善も考えていかな

くてはならないと思っています。

## これからのために

佐藤 すべてのプロジェクトの報告

をしていただきましたので、次は全

とことずつ。  
**植野** 私は教員研修の必要性を痛感しました。長いスパンで教師が学ぶ時間を十分に確保し、システムとして教師が学べる環境をつくるのが大事であると。そのためのお手伝いが求められていると考えます。国内にいると学会や私的な研究会などに参加する機会もつくれるのですが、海外にいるとなかなか難しい。オンラインもICTも活用して、それぞれの先生が関心ある研修に参加できるような仕組みを考えていってもいいのではないかと思います。

**見世** いちばんは多文化化とグローバル化が進むなかで、海外の日本人学校だけではなく、日本国内の学校教育自体も変わっていくかという点、あらためて感じました。「日本の子ども」といったときにそれはどういう子どもなのかと、国内においても考えてグローバルな市民を育てることを目指した教育を考えていくことが必要なのではないかなと。  
もう一つは、子どもたちはほんとうに移動しながら生きているんだなということ。日本人学校にいる子どもたちは移動しながら学んでいるわけですが、国内においても外国の子どもたちが増えていますし、ま

たそういった子どもたちといっしょに学ぶ、まだ日本しか経験していない子どもたちも当事者であると考えられます。だから移民学習というのはいずれから重要な非常にいいテーマではないかとあらためて思ったところ。国内の教育を変えていくためには、帰国された先生がたの、国内でのグローバルな活動をもっと自由に、活発にできるようにサポートしていくことも必要だと思いました。  
**近田** 日本語支援について、当初、国内の外国人児童生徒教育のノウハウを使ったのですが、国内を追い越すというか、よい取り組みができました。だから逆輸入というか、日本人学校が日本の学校のロールモデルになっていくのもいいんじゃないかと思いました。

**佐々** 補習授業校の先生ってそもそもが国際人材なわけで、意欲もあればいろんな力や知恵を持っている人がいるので、どんどんさまざまなことが発展していくというようなことがあります。ですから私たちはこれからそういう場をつくること、そして多くのかたにこういう場があると知らせっていくことをやっていけば、もっともつといういろいろなことが進んでいくのではないかなと思います。オンラインでつながるというのは、やってみたら意外と簡単にできるので、これをこの先も続けていけたらと思います。  
**新原** 昨年の十一月十三日に事業報告会を実施しました。世界各国から約一二〇名のかたにご参加いただきました。質疑応答では、保護者に対するかかわり方とか、日本人学校同士のかかわり方といったことも含めて、かなり活発な意見交換がなされました。将来的には日本人学校同士が連携して支援をする仕組みや、在外だけで課題解決ができるような体制というものが理想なのかなと感じています。  
**佐藤** では、このプロジェクトをいっしょに進めてきた岡村先生、渋谷先生からも願います。  
**岡村** 補習校チームで、おもに学習活動計画や初任者研修、補習校調査・分析を担当しました。ダラス補習授業校をはじめ世界中の熱意あふれる先生がたにつながることができ、楽しく充実した五年間でした。自分自身が補習校で教えていたときにもこんなサポートがあったなら、と思えるような研修を皆さんと力を合わせて形にできたことをとてもうれしく思います。  
**渋谷** 私も補習校チームに参画し、公開授業を拝見するなかで、海外に



育ちながら日本の文化を学び、日本語で自分たちの経験や考えを交わし合っている子どもや若者の姿に頼もしさを感じました。彼ら彼女たちが仲間を増やし、飛躍するための力をつけていける在外教育施設でありた



なかむら まさこ  
**中村 昌子**  
海外子女教育振興財団  
教育相談員



みつい ともゆき  
**三井 知之**  
海外子女教育振興財団  
教育相談員



しぶや まき  
**渋谷 真樹**  
日本赤十字看護大学教授



おかむら いくこ  
**岡村 郁子**  
東京都立大学教授

いんですね。

**佐藤** では、AG5に途中からご参加いただいた三井先生、中村先生からもひとことずつ。

**三井** AG5のおかげで補習校の先生がたの横のつながりが生まれまして。研究協議会でも一つの授業に対して世界中の先生が意見を言い合える輪ができて、これはすごいなと思っています。ですからぜひ継続して、さらに広げていきたいいいのではないかなと思います。

**中村(昌)** テーマ①の探究学習に限った感想ですが、日本人学校ならではのグローバルな問題、あるいはジェンダーであるとか、差別であるとか、日本にいたらなかなか気づけないようなこと、あまり興味関心を持っていないようなことに子どもたちが目をやって、将来グローバルな社会で生きていくときの大きな糧になっているのではないかなと思います。きてもらうようなシステムができるというのかなと強く感じました。

**佐藤** はい。では最後に私から簡単に成果と課題をまとめたいと思います。一つ目の大きな成果は日本人学校や補習授業校の今後の教育のあり方について、具体的な実践に裏打ちされた新しい方向性を示すことができ

たのではないかとということ。二つ目

は、学校とか国、地域の壁を越えた実践の広がりが可能になったことで、これは新型コロナウイルスの影響もあるのですが、壁を取っ払うような新しい方向性が見えてきている。三つ目は、在外教育施設の大きな課題である教員の研修つまり教員の力量をどうつけるかということについて、具体的な実践を通して示すことができるのではないかなと思っています。そして四つ目、財団と私たちも含めて日本人学校・補習授業校の先生が

いっしょにやれたというのがすごくいいことでした。いろんな学校や補習校が協働して課題を見つけ、解決するためにいっしょに考えて、それを具体的にどう実践するか、実践してみてもそこからまた課題を見つけて、また新たに考えて、また実践を試みていくというサイクルができた。これも大きな成果だと思いました。

一方課題としては「継続」。継続するために財政の裏づけをどうするか。継続性を担保する制度的な仕組みがどうしても必要。そして人の継続性も大切です。この学校でこういうテーマで、こういうプロジェクトをやってますけど、そこに行きたい人はいませんかって手を挙げていたかどうかというプロジェクト

いでしょうか。

では中村相談役、財団としての決意表明で締めてください。

**中村(雅)** AG5の活動をさらに発展・展開・定着させるため、我々財団ができることは、しっかりとやりたいと考えています。財政的支援、派遣教員の充実等、国と協働していかなければ解決できない課題もありますが、しっかりと連携して取り組んでまいりたいと思います。

いまのところ「国内と同等の学校環境を整える」ことも目指して進んでいますが、これを法的に位置づけることが支援充実のためには大切です。特に教育の質を高めるためには、派遣される先生がたにグローバル人材育成を自分の使命と受け止めてもらうような派遣制度にしてい

く必要があるのではないのでしょうか。そして帰任したら在外での経験が国内でも生かされるような好循環の派遣制度にしていけないと、これからの継続性維持の課題も解決できないのではないかなと思っています。

今後とも子どもたちと先生がたのグローバル化のために、夢と志を持ち、引き続き関係各位のご指導とご協力をお願いしたいというのが私の切なる要望でございます。よろしくお願いたします。

# 帰国生の母親たちの ボランティア

——自分たちの体験を多くの人と分かち合う

昭和の時代に比べ、現在は帰国生に対する学校の受け入れ態勢は整ってきたといえる。けれども、海外で、また帰国した日本で、多くの子どもたちが悩みを抱えている現実是不変ならない。そんな子どもを支えてきた母親たちが「自分たちの体験を個人のもので終わらせず、皆で分かち合い子どもたちや母親たちを支えたい」と立ち上げたボランティアグループが各地に点在している。

今号では首都圏と関西を拠点に活動する、合わせて四つの会取材した。

取材・文 高田和子



オフィスで作業をする「フレンズ 帰国生 母の会」のメンバーたち

帰国子女の会フレンズ（旧称）が誕生したのは一九八三年十月。海外から帰国した子どもたちを温かく迎え、海外での体験を評価してくれる学校がまだごく少数だったころだ。自分たちの子どもが苦労する姿を見て母親たちは「日本の学校をなんとかしなければ」という怒りに似た思いで会を立ち上げた。

翌年、子どもたちが帰国後の高校進学に苦労した経験から、自分たちの足で歩いて得た学校受け入れ状況をまとめた『高校案内―母親が歩いて見た学校案内』を発行。

## フレンズ 帰国生 母の会

<http://fkikoku.sun.bindcloud.jp>

104-0061 東京都中央区銀座5-3-16

日動火災・熊本県共同ビル8階

TEL : 03-6633-4096 / FAX : 03-5537-3416



それは母親のボランティア活動が珍しかったこともありマスコミにも取り上げられ広く評価された。やがて活動に賛同する企業から賛助金も提供されるようになる。さらに一九八七年三月、東京海上火災保険株式会社（当時）の本社ビルの一角がオフィスとして提供されることになり、運営が安定した。

現在はビルの建てかえにより銀座にある日動火災・熊本県共同ビル八階が提供され、スタッフは自宅での作業のほか各自週に一回オフィスで活動している。

二〇〇二年十月に現名称「フレンズ 帰国生 母の会」（以下、「フレンズ」と改称されたが、目的は設立当初から変わらない。

現在のスタッフは約三十人。さらに面談や情報提供などで協力してくれる、海外で子育てを経験したネットワーク会員は海外に約二十人、国内に約五十人いる。

### 経験をもとに 実感を込めて

活動の柱の一つはセミナーと相談だ。首都圏の賛助企業などからの依頼で行う赴任前セミナーの内

容は、おもにこれから赴任する国の生活情報と教育情報で、治安や気候、持参する物、学校選び、日本語の補習、塾の有無などについて情報を提供する。

個人の場合、オフィスで相談を受けたら電話やメールで対応したりする。内容は渡航前・赴任中の相談だけでなく帰国後の日本の学校選択などさまざま。

スタッフの富田紋<sup>とみたあや</sup>さんは「私の渡航先はニューヨークでしたので、情報はありましたが細かなことはわかりませんでした。実際に暮らしてみると予想外のことがいろいろ起こりました。帰国後も同じです。だからここではよいことも悪いことも実感を込めて話します。経験しているからこそ伝えられることがありますから」と言う。

心のケアなど専門的な知識や経験が必要なケースは稀だが、その場合は専門機関の情報を提供する。

富田さんは「子どもたちは、ことばが通じない、学校に慣れない、帰国後の受験の心配など、何重にもストレスがかかります。渡航前の親は準備や手続きで精いっぱいですが、子どもの気持ちにフォーカスすることが大切です」と強調する。

### 母親の視点で取材する 『学校案内』

毎年発行している『母親が歩いて見た帰国生のための学校案内』の掲載校は国公立、私立の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、高等専門学校で約三三〇校。参考資料として在外校、首都圏の国内インターナショナルスクールの情報も掲載している。

帰国生の入試要項や入試結果、編入学等の情報を中心に、帰国生への対応も具体的に掲載している。すべての学校を訪問するわけではないが、毎年四十から五十校を訪問して先生や帰国生にインタビューをしている。その訪問記は毎年学校に確認したうえで基本的に三年間掲載する。

「現在はネットでいろいろな学校情報が調べられますが、子どもたち一人ひとりに合った学校を選ぶには、

情報がまとまって得られる学校案内は必要な本だと思います」と編集長の石山由美子<sup>いしやまゆみこ</sup>さん。

発行部数は一〇〇〇部、二〇一一年からPDF版でも購入できるようにになった。海外からはPDF版の需要も多いが、国内外共に書籍の方が売れているようだ。



フレンズ『母親が歩いて見た帰国生のための学校案内』2022年度版

年二回発行している『フレンズだより』は二〇二一年十二月に七十七号が発行された。全十六ページのカラー刷りだ。

「海外生活に興味を持つ人が楽しめる話題や会の活動を通していま最も考えたいことをテーマにしています」と編集長の古田暁子さん。

七十七号では日本の名所紹介、コロナ禍での世界状況、がんばる帰国生の体験などが載せられて



フレンズだより2号(上)と77号(下) ガリ版刷りの2号には、森喜朗文部大臣(当時)に要望書を提出した記事が掲載されている。

いる。

シンポジウムや講演会は三、四年に一回行っている。テーマはフレンズに寄せられる相談や活動を通して課題を見つけ設定している。直近では「外国語—どう向き合う?—どう学ぶ?—というタイトルでバイリンガル教育の専門家である中島和子氏に講演を依頼した。

代表の池谷明子さんは東京海上日動火災保険株式会社はじめ多くの企業の支援への感謝の気持ちを口にする。

さらに「スタッフやネットワーク会員は皆温かく、家庭や仕事がありながらも支え合って活動しています」とつけ加えた。

お互いに感謝の気持ちを持ち、助け合いながら活動することが継続の秘訣だろう。



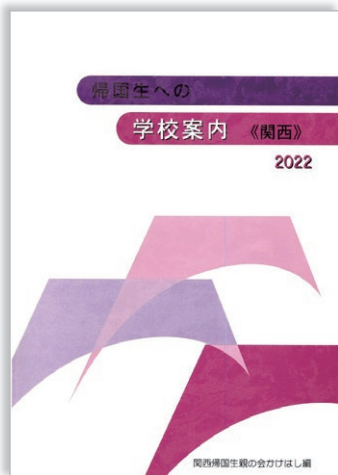
関西帰国生親の会かけはし(以下「かけはし」)は、フレンズ創設の翌年一九八四年に立ち上げられた。関西に帰国し、少ない情報のなかで自分の子どもたちをどこに学校に編入させたらいいかわからず苦労した母親たちの「その経験を基盤にこれから帰国する人たちのために何かできないか」という思いが発端になった。そして翌年、『帰国生への学校案内(関西)』(以下『学校案内』)を発行した。

## 関西帰国生親の会かけはし

<http://www.ne.jp/asahi/kakehashi/kikoku/>

連絡先: 530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500  
大阪駅前第二ビル五階 大阪市立総合生涯学習センター気付 ロッカー No.M16

TEL: 090-6060-0812



かけはし『帰国生への学校案内』2022年度版

かけはしの活動について代表の相庭祐子さん取材した。

毎年「かけはしセミナー」を行い、その報告を『学校案内』の特集として巻頭に載せている。二〇二二年度版のテーマは「環境変化



現在の会員は約四十人。大多数が働いていて、時間を融通し合って活動している。

固定された事務所はないが、定例会や学校案内の発行作業などは大阪市総合生涯学習センターで行っている。郵便は私書箱を使い、本の在庫などは会員で分担し、チラシなど山積する資料などはロッカーを借りて保管している。



における子どもの心理を理解し支えるー親もストレスをかかえないためにー」で、四月にオンラインで開催した。講師は海外子女教育振興財団「渡航前配偶者講座」の講師を務める小木曾道子氏だ。

巻頭に掲載するもう一つの特集は「かけはし特別リポート」だ。『学校案内』の取材に際して実施する生徒と親へのアンケートに「特別リポート」のための質問を加えている。その結果を会員がまとめてリポートする。二二年度版のテーマは「帰国生が日本の学校生活でいちばん楽しみにしていたこと」。

『学校案内』の掲載校は関西の小・中・高が六十校。さらに関西府県の教育委員会も掲載している。取材訪問を原則としており、「それが、かけはしの売りです」と相庭さん。

学校情報は帰国子女の編入や入試に関する情報だけでなく国語の取り出し授業があるか、英語は習熟度別授業か、帰国生は何人いるかなど母親の視点で取材する。

最後の「かけはしより」という会員の感想を交えた文章は、取材を通していちばん伝えたいことだ。「学校選びに正解はありません」。

自分自身の正解を見つけてほしいです。それぞれのお子さんにとっての『よい学校』とマッチングして満足してもらえる助けになるといいなと思っています」

### 引き出しを提供する

活動のもう一つの柱は教育相談だ。企業から頼まれたセミナーは企業指定の会議室やオンラインで行う。個人の相談は基本的にメールで行う。海外からの相談はZoomで行うこともできる。

「まず私たちはあくまでもボランティア団体で、教育の専門家ではないと伝えていきます」と言う。

インターネットの情報があふれるいま、家においても情報はたくさん集められる。かけはしで行っているのは経験に基づいたアドバイスの中心だ。

「私たちの活動はこれから渡航されるかたや帰国されるかたの悩み事に『どうにかなるし、どうにかするためにこういう方法がある』と引き出しを提供することです。どの引き出しを選ぶかを決めるのは皆さんで、私たちが押しつ

けてはいけないというスタンスです」

相談だけでなく皆で話し合える場として年に二回「レッツトーク」を行っている。

「学校のこと、生活のことなどニーズに合わせて参加者をグループ分けし、そのなかにはかけはしの会員も入って自由に話し合います。かけはしの会員からは話さず、求められたらアドバイスをしたりヒントを出したりします。参加者同士で相談解決になることもあります」



かけはし「レッツトーク」の様子

一時間半ほどだがとても盛り上がるそうだ。参加はホームページなどで呼びかける。直近のレッツトークはZoomで行い、海外からもエントリーがあった。

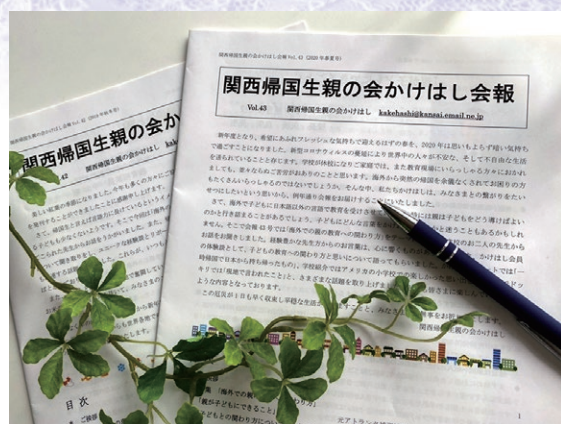
「海外子女教育振興財団の相談員の先生も入ってくださいとても参考になるお話を伺えることもあります。とても感謝しています」

### 会のことを知ってほしい

年に二回、会報を発行している。以前はおもに会員のためのものだったが、広く読んでもらうためにホームページでも公開している。補習校や日本人学校にはPDFファイルで送っている。

内容は帰国生や保護者、海外在住者による体験談や教育関係者へのインタビューが主だ。二〇二一年秋号の特集は「帰国生とクラブ活動」で、海外と日本のクラブ活動経験者の体

験や思いを掲載している。  
 ホームページも多くの人に情報を  
 を提供できるようリニューアルし  
 た。リンクも充実させ出国にか  
 わる大切な情報と帰国してから必  
 要なことなどがわかるようにした。  
 インスタグラムも始めた。  
 「いまやインスタの時代。『帰国  
 生』とか『帰国子女』などというハ  
 ッシユタグをもとに少しずつ見て  
 くださるかたが増えてきました」  
 相庭さんは「私たちの活動はい  
 ろいろなかたに助けられていると  
 感じています」としみじみ語って  
 くれた。



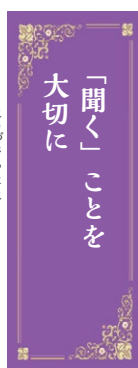
かけはしの会報

会員たちの思いを、響かせ合い  
 伝え合いたいとの気持ちを込めて  
 名づけられたECHOは一九九〇  
 年十月に結成された。帰国後の生  
 活に違和感や悩みを持つ神戸市在  
 住の帰国子女の母親十人が呼びか  
 け、阪神間から五十人ほどの参加  
 者が加わった。  
 子どものこと、親自身のことな  
 ど、戸惑いや悩みを心おきなく打  
 ち明けられる場にした。そして  
 子どもたちにとってよりよい学校  
 や社会にするために自分たちので  
 きることから始めたい、そのため  
 の勉強をしたいという思いからだ。

## 神戸帰国子女親の会 ECHO

<http://www17.plala.or.jp/kobekikoku2019/>  
 事務局 TEL・FAX : 078-992-0423 (上月方)

さらに外国のよい点を日本社会  
 に生かしたい、海外でお世話にな  
 った経験から、今度は外国のかた  
 にお返ししたいという思いもある。  
 現在の会員数は約四十人。兵庫  
 県、大阪府、京都府、遠くは滋賀  
 県まで広い範囲に広がっている。  
 活動は西宮市の公的な会議室など  
 を使用している。  
 代表の上月素子さんは「会が発  
 足した当初は子どものためという  
 思いが強かったのですが、その親  
 がにこやかに元気に前向きに暮ら  
 せなければ子どもの長い成長の旅  
 路は支えられないということに気  
 づきました。そして親の悩みに寄  
 り添い遠慮なくいろいろなことが  
 話せる会へとなっていました」  
 活動について菅沼美里さんに聞  
 いた。対外的な活動の中心はホー  
 ムページのメールボックスで渡航  
 前、滞在中、帰国後のかたからの  
 相談を受け、メールや対面での情  
 報提供とサポートを行うことだ。  
 「子どもの問題が多いのですが、  
 そのためにまず親御さんの悩みを



聞きます」  
 情報はネットでも取れるが同じ  
 経験をしたからこそ寄り添えるこ  
 とがある。  
 「『ほかで言えないことを話して  
 ください』と言うと、どんどん出  
 てきます。こちらからの発信より  
 も『聞く』ことを大切にしていま  
 す」  
 活動報告や会員の日ごろの思い  
 を伝えるためにニュースレターを  
 一年に一回発行し、国内や在外の  
 会員はじめ、帰国子女受け入れ校  
 や関連団体に送っている。日本の  
 生活で思うこと、海外生活での出  
 来事、本の紹介など個性あふれる  
 文章がつづられている。  
 「IT時代にあってもお手元に  
 届きたい印刷物です。ホームペー  
 ジでの公開はしていません」  
 二〇〇一年十月に小冊子「なが  
 れ」を発行した。そこには帰国し  
 た母親たちの思いや帰国直後の子  
 ども、時間を経過した帰国子女な  
 どそれぞれが何を感じ、どのよう  
 に帰国後の生活をつくり上げてい





—自分たちの体験を多くの人と分かち合う—

つたか、また学校についての調査データも交え具体的に書かれている。交流の場としては一年に一回、おもに帰国まもない人やこれから行く人に気兼ねなく話してもらう「思いつきトーク」を開いている。ECHOが立ち上がったからずっと続いている大切な会だ。参加はホームページで呼びかけている。会員同士は一カ月に一回の「モニタリングティー」、一年に一回の「サンクスギビングパーティー」で情報交換をしている。会員は四十代から七十代までと

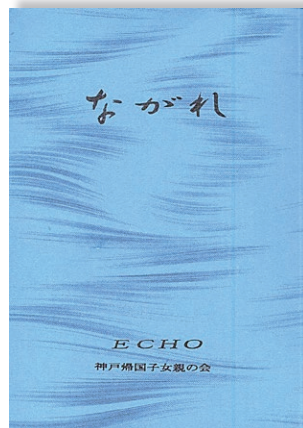


ECHO ニュースレター

「年代が違う会員同士、教えることと教えられることがあります。自分の子どもが大きくなって成長過程がわかる年配の会員は、子育てに迷う若い会員にアドバイスしますし、反対にいまどきのことが苦手な年配の会員は若い会員に教わったりします。これもECHOの強みです」



年齢層が広い。



ECHO『ながれ』



ECHOの「やさしい日本語サロン」でアジアからの留学生に「こんべいとうアート」の説明をしているところ

訪したこともあれば能や盆裁を紹介したこともある。また外国文化の紹介としては、ベトナム人留学生による「本場ベトナム料理教室・アオザイを着てみる」、ロシア人留学生による「普段着のロシア」などで各国の生活文化を紹介したり料理教室を行ったりしている。現在は会としての活動ではないが、会員が個人として各地域で行っていることもある。たとえば週

に一回「やさしい日本語サロン」を開催して日本語で地元住民とコミュニケーションをはかっている。欧米やアジアなど十カ国以上の国籍を持つ人が集まる。日本語だけでなく生活の支援もしている。バングラデシュからの家族の子どもの保育園入園の手続きを手伝ったりインドネシア人の子どもの二歳半検診に同行しムスリムの習慣の違いや子育ての違いを保健師さんに説明したりした。「今後も市や関係団体などと連絡し合い広く相談に乗ったりお手伝いしたりしたいです」と菅沼さん。

上月さんは「帰国子女問題を帰国後の適応時期が過ぎれば終わったと捉えず、長い目でかかわっていきたいと考えています。そしてこたまのように響き合い、伝え合いながら帰国家庭のオアシスのような役割を果せば、と願っています」と話してくれた。



With Kidsのホームページ

日本と異なる文化や言語に囲まれた海外での生活は親にとっても子どもにとっても不安やストレスが多い。けれども海外では日本語

## With Kids

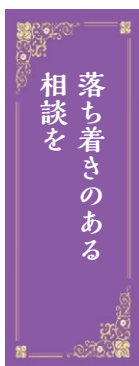
<http://www.withkids-kaigai.com>  
 連絡先: [soudan@withkids-kaigai.com](mailto:soudan@withkids-kaigai.com)

でメンタル面の相談ができる専門家を見つけることはたいへん難しい。

「日本の学校ではスクールカウンセラーが配置されているのだから、海外の日本人学校に通う子どもにも同じサポートを受けさせてあげたい」

臨床心理士たちのそんな語らいのなかから二〇〇六年四月、With Kidsが立ち上がった。

現在会員は国内、海外に二十人ほど、全員臨床心理士の資格保持者だ。国内の会員は臨床心理士として勤務している。九人は海外在住者で滞在地はアメリカ、フランス、ドイツ、ヨルダン、香港、台湾、シンガポールと広範囲だ。夫の赴任に伴って海外で暮らすことにより、キャリアの分断が起らないようにという思いもある。自己研鑽という意味合いで参加者は少しずつ増えているようだ。



代表的澤谷厚子さんに話を聞いた。  
活動の中心は海外からの子育て

における相談をメールで受けることだ。これから海外に出るにあたって、という相談は少しあるが帰国後に日本の学校に適應しないというような相談は受けていない。それはまた別の機関があるからだ。

メール相談は二〇一五年からの五年間で、一九一件。いちばん多いのは発達相談で、三分の一を占めている。そのほか不登校、いじめなどの学校関係、子どもの情緒不安定などの性格行動関係、対人関係、しつけ関連、お母さんの子育てをしていての不安についてなどの相談だ。

日本人学校、インターナショナルスクール、現地校に通っている子どもだけでなく、幼児についての相談が来ることもある。

「学校に対しては親御さんに『このようにアプローチすると先生がたにもわかってもらいやすい』というようなアドバイスをしますが、基本的には家庭で親がどう向き合うかという内容の回答を出していきます」

孤独な子育てで精神的に安定していなかったり相談相手がそばにいなかったりという母親もいる。「そういうケースがいまままでに

何件かあって、なかなか簡単には解決できません。メール相談の限界であると同時に、こういう形で孤独な子育てを支えているという実感もあります」

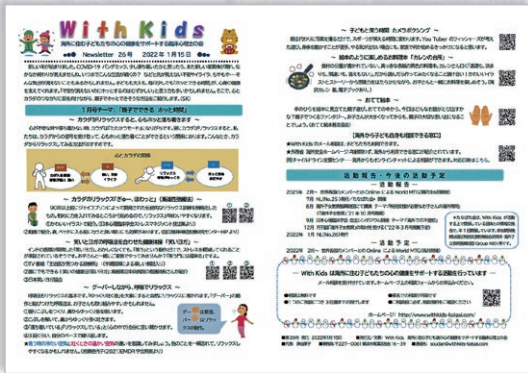
相談は三回でいったん終了する。「リピーターのかたもいらつしやいますが、その場合は回答者を変えてお答えしています」

臨床心理士としての立場に立つて行っているという点ではメールでも対面と同じだ。けれどメールの場合は緊急性のある件に対応できないし重篤な件に対しても答えられない。

「そういうメールが来た場合、『いまの状態はとてもよくわかるけど私たちには対応できないので』とお断りしてから、医療機関を受診する方がいいとか、在外公館に相談した方がいいとか、帰国も考えた方がいいなどとお伝えしています。

即時性のあるチャットやラインの活用は時差の関係で難しい。「メールは即時性がなく、ある部分では時代遅れになっているかもしれませんがありません。でもメール相談のよさがあります。メールはしっかりと読んでじっくり取り組むことが





With Kids ニュースレター2022年1月号

相談活動だけでなく海外の会員と結ぶワールドミーティングと研修をZoomで二カ月に一回行う。日本での対外的な催しの依頼があったら講演もしている。広報活動としてニュースレター



できます。また相談するかたは自分で書くことによっていろいろなことを整理し、それに対する回答も何度も読み返せます。そのような『落ち着きのある相談』をしたと思っています」



With Kids ジャカルタ訪問時の個別相談

を年に二回発行し、日本人学校・日本人会等に配布している。二〇二一年発行の二十五号は「コロナ禍でのオンライン授業による子どもたちへの影響」を特集している。「ニュースレターは海外に在住

している親子の役に立つようにと、おもに日本人学校を中心に発信しています。けれども保護者にあまり届いていないのが残念です。ホームページでも見られますので保護者に紹介してほしいです」

オプションで、日本人学校や日本人会の依頼を受けて数人で現地に赴き子育てに関するワークショップや子育て支援の講座を行うこともある。相談も対面で行い、国によって多いときは一日に二十件くらい、少ないときでも十件ほど行う。〇六年から一九年までに通算二

十三回、インドネシア、台湾、中国、ドイツ、韓国などに出向いた。一校だけでなくその国にある日本人学校を数校回ることもある。飛行機代や滞在費は基本的に実践メンバーの自己負担で、日程的にも予算的にも個人の負担は大きい。定着するにつれて主催者側が提供してくれることもあり、負担は軽減されつつある。



「この二年間はコロナで行かれませんでした。コロナが収束してもそれ以降依頼があるかどうかはまったくわかりません」

会としてはあくまでもオプションの活動だ。

澤谷さんは「活動を始めたころ、世界の日本人学校でスクールカウンセラーのいる学校は一校か二校くらいだったと思います。現在増えてきているとは思いますが、まだ不足しています。今後すべての学校に子どもの心のケアができる養護教員がスクールカウンセラーを送ってもらいたいと思います」と言う。

事務的なことで考えられるのは誰でもコンピュータが使えるようになりさらにオンラインなどで作業の効率化がはかれるようになったことだろう。ネットの普及で世界を結んだ交流もできるようになり情報量も増えた。それは子どもたちも同様で、国をまたいで祖父母や友達と交流できるようになった。

受け入れ環境はどうだろう。フレンズの富田さんは「受け入れ校



それは多くの母親の思いでもある。With Kidsの会員たちは臨床心理士として海外子女の実情を学会で発表するなど広く社会に向けて活動しながらボランティアを続けている。

は広がってきています。一般受験でもさまざまな受験形式が増え、帰国生が対応できるものもあります」と言う。

かけはしの相庭さんは「グローバル時代ということで帰国生の特色がほかの生徒に波及することを望んで帰国生を受け入れる学校も出てきました」

救済という意味合いが強かった時代とは少し変わってきたようだ。同時に、相庭さんは「保護者が『英語力をつけることが海外生活の最大の強み』と考える傾向は前から見られましたが、最近はその

が特に強く感じられます」と言う。出国前から「バイリンガルになったらどのような有利なことがあるか」と聞かれるそう。

英語の習得は海外で暮らすうえでの大きなメリットだ。けれども子どもたちは現地社会で広く文化を吸収している。学ぶのは英語だけではない。非英語圏の現地校や日本人学校に通う選択肢もありそれぞれメリットがある。

コロナ禍の影響もあった。With Kidsの澤谷さんは「父親の相談が少し増えました。閉鎖的な空間でストレスがたまること、そ

れまで細かく見ていなかった子どもの様子を見る時間が増えてきたことなどが考えられます」と分析する。閉鎖的にならないように、どのように生活するといいかアドバイスするそうだ。

母親自身のボランティアへのかわり方も少し変わってきた。

「三十年前ごろまでは母親がいったん仕事を辞めて海外赴任についていかざるを得ない社会的背景・事情があったため、帰国後にストレートに復職できにくかったのです」とECHOの上月さん。けれどもいまは帰国後に働く母親が増えていた。したがってボランティアをする母親の人数は減ってきたようだ。

With Kidsの澤谷さんは「会員には帰国後に仕事復帰されるかたが多いです。仕事が忙しくなり丁寧な相談対応をする時間がないというかたが増えました。一方で海外会員の活躍が増えています」

かけはしの相庭さんも言う。「仕事をしている人が多くなり、空いている時間をかけはしにつぎ込んでいます。スタンスが少し違ってきました。会員数も減りました」

## 子どもをめぐる困難は変わらない

変わらないこともある。海外で差別を受けたり、異文化に葛藤したり。帰国後は日本の習慣になじめなくて疎外感を感じることもある。それらはいまも変わらない。

ECHOの菅沼さんは「子どもに関する相談はびつくりするほど三十年前と変わっていません」と言う。受け入れ態勢についても「関西は受け入れ校に通える地域が限られています。以前から公立の小・中・高に通う地方の帰国子女が多くいます。地方の公立校については有益な情報が少なく、学校の対応もあまり変わりません」とのこと。

ECHOへの相談でも、「帰国子女が多い」また「帰国子女の受け入れに慣れている」公立の学校区についての問い合わせが多く寄せられるそう。受け入れ事情も地域によって差があるようだ。

日本の教育の基本的な問題もある。フレンズの稲垣美佐子さんは「受験競争が子どもたちを苦しめている点は変わっていません」と言う。

中高一貫校で高校入試を行わない学校も増え、高校受験だけでなく中学受験も熾烈だ。海外での日本人の子どもの塾通いは現地の人の間でも話題になっている。

稲垣さんはさらに「いまや高校進学率は九九パーセントに近いという実態です。高校までの義務教育化を実現すれば国内の子どもの受験競争も変化し、海外生も高校進学の節目に母子のみ帰国するとか外国にいながら日本の塾に通うというようなことも少なくなるでしょう」と提言する。

ECHOの菅沼さんは言う。

「変わっていくことに対応するだけでなく、変わらないことも大切に人の気持ちに寄り添える会でありたいです」

「ボランティア活動は自分のためでもある」とどのグループからも聞こえてきた。

ボランティア活動は「自分の経験を生かす場」であり「自分の思いを発信する場」であり「仲間とつながり社会とつながる場」でもある。そして、何より「自分の居場所」でもあるのだろう。



# 「KANJI」は面白い! 漢字

ブレット・メイヤー



アメリカ・ニュージャージー州生まれ。  
非漢字圏出身者で初めて漢字検定一級に合格。

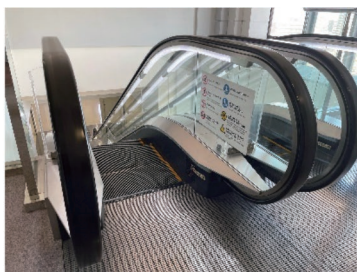
<https://www.facebook.com/BretMayer/>

When studying kanji, it's important to practice writing every day. However, sometimes you need to get outside and take a break. That doesn't mean the learning has to stop! One of my favorite things to do is go kanji hunting.



Interesting and unique kanji can be found all over town, no matter where in Japan you may live. If you see something you don't recognize, take a photo and try looking it up later!

To get you started, here's a rare kanji that is surprisingly easy to find: 'button' 釦 ボタン. It's a metal (金) disc you push into an opening (口).



Most commonly, 釦 is found at the foot of an escalator where the emergency stop button is located. However, if you keep your eyes open, you can find the occasional 釦 in a wide variety of places!



Next time you're out and about, look around for interesting kanji and see what you can find!

共学

# 昭和学院中学校・高等学校



校舎外観

JR総武線の「本八幡」駅は、都営地下鉄新宿線の始発駅でもある。すぐ隣には京成電鉄の「京成八幡」駅もあり、千葉県市川市の行政・商業の中心地である。

地名でいえば菅野、八幡……古くから小説家や文筆家も暮らす高級別荘地として栄えてきた。病院や学校も集まり、東京都心まで約三十分というアクセスのよさからサラリーマンのベッドタウンとしても人気がある。

昭和学院中学校・高等学校は、

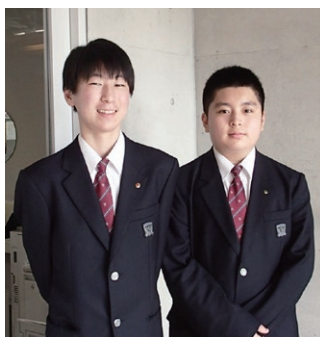
その本八幡駅の北側にある。かつては見渡すかぎりの田園の中にあつたのだから、さすがに現在は駅から校舎を見ることはできない。商店街から住宅街を十分ほど歩くと、やっと校舎が視界に入ってきた。

創立は一九四〇年。第二次世界大戦後、新制の女子中学校・高等学校となり、二〇〇三年に男女共学校となった。二〇一〇年に建てられた校舎は、未来を予感させる斬新な構造となっていて、市川市景観賞を受賞しているそうだ。

## 生徒が自分の夢に向かっている

約束の時間に到着すると、留学生と帰国生のふたりが待っていてくれた。三歳から十二歳まで中国大連市の祖父父母に預けられていたという中二のAさんは、現地校の国際部（カナダ方式）で六年間学んで日本に戻ったそうだ。

「英語で勉強を続けられる学校



インタビューに答えてくれた生徒たち

を希望していたら、塾の先生が昭和学院を紹介してくれました。家からも近くて、英語で受験できるというし……英語を話せる子が集まると聞いたのもうれしかったです」と言う。

一歳半で渡米し、七歳までニューヨーク郊外に住んだ中一のBさんは、「現地校は小二の途中までで帰国したのですが、ずっとアメリカで知り合った友達と連絡を取り合っています。将来またアメリカに行きたいので、英語を勉強したいと思いました。ネットで昭和学院を知って、祖父父母が近くに住

んでいるし、ここだ！って」と笑う。入学してみると、想像以上に自由な雰囲気だとBさんは言う。

「制服も何種類かあって、組み合わせも自由に選べるし、靴も自由です。部活はESSに入っていて、英語のボードゲームなんかで遊んでいます。もちろん話すのは英語です」

一方、Aさんは「学級担任が日本人と外国人のペアなのがいい」と思ったそうだ。

ふたりに将来の夢も聞いた。

Aさんは「僕は将来、医者か弁護士になりたいんです。それを先生たちはわかっていて、理科や数学をがんばれとか、説明する力が大事だとか、アドバイスしてくれます」、Bさんは「アメリカで大リーグ関係の仕事がしたいので、データ分析のための数学や、コミュニケーション能力を伸ばしたい」と言う。

中学一・二年生ながら、こんなに具体的に考えることができてるのは、個々の生徒の夢や思いが大事にされ、丁寧な指導が行われているからなのだろう。



所在地：〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-17-1  
TEL：047-323-4171 / FAX：047-326-5310  
URL：<https://www.showa-gkn.ed.jp/js/>  
交通：JR総武線・都営新宿線「本八幡」駅または京成本線「京成八幡」駅から徒歩約15分、バス約5分。

JR武蔵野線・北総鉄道「東松戸」駅からバス約15分。

生徒数：中=460人 高=941人

帰国生数：中=19人 高=6人

教職員数：専任97人（うち外国人6人）

非常勤27人

帰国生入試の出願資格：

原則として、外国に継続して1年以上在留し、帰国後3年以内の者。

## 多様な価値感を持つ生徒を育てたい

中学教務部長の三部陽祐先生に学校の様子を聞いた。

「正直なところ合格ラインがそれほど高い学校ではありませんので、じつに多様な生徒を受け入れてきた伝統があります。創立以来八十年余り、ずっと人として大事にすべきことを大事にし、教員が一人ひとりの生徒に寄り添いながら支援する学校として、評価をいただけてきました」

落ち着いた住宅街にあって、周囲に外国人も多く住んでいることから、グローバルな人材を育てる



オールイングリッシュの授業

土壌もある。

「変わりゆく社会で必要とされる力を育てていることを明確に打ち出すために、三年前からコース制を導入しました。いま海外にいらっしゃる皆さんにも、本校の存在を知っていただきたいですね」

「IA (International Academy)」  
「TA (Top Grade Academy)」  
「AA (Advanced Academy)」  
「Ath (Athlete Academy)」の五コースを中学校から開設。それを下支えする基礎教養講座ともいうべき「SGアカデミー」……読書、アクティブラーニング、未来講座（さまざまな分野から講師を招く講演会）、ネイティブスピーカーの教員による英語授業が展開されている。自主的に学ぶ取り組みが盛んな、欧米

の現地校のような枠組みが見えてくるのも、多分に海外育ちの子を意識しているようだ。

「確かに、海外生活を経験した生徒の入学がよい刺激になって、新しい協働性を見出し、いけることを期待しています。そのほか、英語入試やプレゼンテーション入試など多様な入試によって、いっそう多様な才能を迎え、育てていきたいのです。また、最近ご要望が寄せられるサイエンス・コースも、現在準備しています」

## 生徒も先生も穏やかな学校

海外育ちの生徒には、具体的に何をしてくれるのだろうか？

「日本語の読み書きに親しんでいない生徒には特に、はっきり簡潔なことで伝えるよう配慮をし



課題探究型の学習の様子

ています。慣用句や婉曲な言い方は、まず伝わりませんから（笑）。外国人の教師と協働して対応することもあります」

国内育ちの生徒も、それを見て世界の価値観の多様性を肌で感じているようだ。

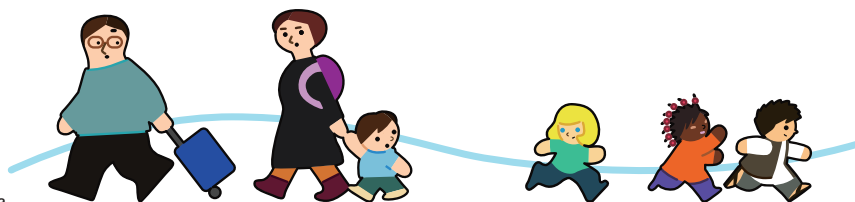
「基礎的なことは、ある程度は練習しないと成果が出ませんので、そこはがんばってもらいます。もちろん日本語の説明は詳しくしますし、英語はその子の希望に応じて指導します。ともかく安心感が大事ですね。」

成績の評価も、成長を支援するような形にしています。たとえば「C」評価となった科目を「B」にするにはどうすればよいかなどと声がけし、生徒と確認し合えるように心がけています」

この学校に漂う穏やかな空気は、誰もが安心して自由に語り合えることから生まれているのだろう。主体的で柔軟な思考力を育むことがこの学校の日々の営みそのもののなのだ。そして地元社会も、それを支持している。市川市景観賞の「景観」には、校舎や校庭だけでなく、そこにいる生徒や教師の姿も大事な要素として含まれているのだから。（取材・文 小山和智）

# 「我が家」をホームタウンに

Illustrated by  
Reona Nishinaga



早紀、主税、毅志、大地の四人は高校卒業後それぞれ自分が学ぶテーマを見つけ大学へ。そして日本人としての誇りを持ちながら国籍にとらわれずしっかりと歩いていく。均と晶子にとってもふたりだけの新しい生活が始まった。離れて暮らしていても、家族にとつてのホームタウンは育ててくれた「我が家」だ。

取材・文 高田 和子

## 毅志と大地の幼いころ

毅志はオースティンのプリスクールでは泣いてばかりだった。そしていつも一年違いの主税にくっついてた。

二歳七カ月のときにパリに引っ越し、通っていたプリスクールではたびたびセーヌ川に面した公園に行つて遊んだ。先生を先頭に長いひもを全員が握つて電車ごっこのように歩いていく。そんなある日、途中で毅志の靴が脱げかけてしまった。けれども毅志はそれが言えずそのま

ま靴をずるずる引きずつて公園まで歩いて行つたそうだ。

晶子がそれを聞いて『靴が脱げた』つて言えればいいよ』と教えるとそのフリーズを何度も繰り返して練習していた。ベビーシッターと留守番をしたときのこと、ベビーシッターが晶子がつくつておいたスパゲッティをお皿に盛りながらPlus? (もつと?)』と聞くと、毅志はOm. (うん)』。それが三回続いて毅志のお皿は大盛に。

「かなり早くから小さいなりに三カ国語をうまく使い分けていましたがシャイで遠慮深いところがあり、『No!』が言えない子でした」と晶子。

小学一年生でヒューストンに引っ越しで最初の週はまだ仲よしもおらず、ここでも休み時間には主税にくっついてた。よくふたりでぼつんと座つて、スナックを食べていたそうだ。

けれどもすぐに友達ができ、英語も達者になつて悪いことばも覚えた。悪いことばとは知らず先生の前でも言つてしまひタイムアウトになるという失敗も。ひとりでグラウンドの隅っこに座らされたそうだ。

末っ子の大地が通つたパリのキンダーガートンでは、泊りがけのキャンプがあった。駅で友達四人とその親たちといっしょに汽車が来るのを待つていたのだが、汽車に乗るとその子たちの親は大地のことなどまったく考えず、さっさと四人の子どもを座らせてしまった。晶子は仕方なくそばの席にそつと大地を座らせた。

大地は何も言わずにぼつんとそこに座つてた。大地のことを先生に話すと、すぐ大地を抱いてデッキまで出てきてバイバイをさせてくれた。ほつとして送り出すことができた。

サッカーは学校内のチームではなく幼児のころからパリのクラブチームに入った。そのチームは子どもたちが幼いころは大地のこともきめ細かく見てくれていた。優勝したときの写真では大地が真ん中でトロフィーを持ってニ



ハロウィンの夜、近所の子どもたちを迎えるジャック・オー・ランタンは家族一人ひとりの作品。ヒューストンの自宅前で毅志9歳。1998年10月31日。



大地11歳、高校の卒業式でヴィヴァルディ「四季」を演奏して出席者を迎える。2007年6月。



ニコ顔で写っている。けれども年齢が上のチームに移ると、さまざまなことが子どもたち任せになり、大地は試合に行ってもどう動いていいかわからないことが続いた。大地はチームメイトを見つけ、その子たちのあとを一生懸命についていった。

「誰も声をかけてくれずお昼に食べたスパゲッティのソースを口の周りにつけたまま一生懸命ついていった姿が目には焼きついていました。チームの一員になろうとがんばっていた姿に胸がきゅんしました」と晶子。

四年生からはインターナショナルスクールに通った。バイオリンのレッスンにも励んでいた大地は十一歳のとき、高校の卒業式でヴィヴァルディの四季を卒業生の入場行進時に演奏した。

## 自立に向けて

フランスやアメリカではインターナショナルスクールと数校の現地校がいつしよにオーガナイズしてボランティアワークをする団体があり、活発に活動していた。そういう環境で子どもたちは人のため社会のために何かするということを重

い使命と感じるよう育っていったようだ。たとえば早紀は高校生のころガーナに行つて子どもたちに勉強を教えた。また毅志は大学のころから水道も電気もないところに行つて手助けするという活動をするグループに入つており、南アフリカやベトナムなどに行つた。人権や貧困問題、ジェンダーや人種などの平等に興味を持っていた。

高校卒業後の進路についてのアドバイスは長年海外でキャリアを積んできた均の出番だ。

「子どもたちはボランティアや生徒会活動、模擬国連などを通して、広く世界を見てきました。自分を客観的に見てやりたいことを見つけて生きています」

大学は「何を勉強したいか」をしつかり決め熱心に調べて選んだ。そして皆そろつて名門大学、大学院に進学している。

早紀はイギリスの大学で医学を、アメリカの大学院で公衆衛生学を学んだ。現在はハワイで産婦人科医をしている。ハワイは「日本語のわかる医師」が活躍する地だ。

主税は大学では環境科学と経済を専攻し、修士課程では政策学、博士課程では環境経済を学んだ。高校時代の模擬国連の会議で環境問題に興味を持ったことも影響しているようだ。現在はアメリカ政府で気候変動の政策を手がけている。

毅志は大学院で公共政策を学んだ。現在はリサーチコンサルティングの会社でカリフォルニアの地方政府のプログラムなどを評価する仕事をしている。

大地は大学でコンピュータサイエンスを専攻し、現在はシアトル市にあるゲーム会社でソフトウェアエンジニアとして働いている。

## 日本人であること

学校の中では差別をしない教育をされていたが外に出るといやな思いをすることもあった。

「公園で自分の目を引っぱつて細めて娘に見せる子どもがいました。小さい子が誰からそんなことを学ぶのか驚きました。子どもたちがそういう場面に遭遇するのを見るとほんとうに傷つきました」

子どもたちは日本人であることに誇りを持ち、アイデンティティが揺らぐこともあったが、いまではそれぞれにしっかりと立ち位置を定めている。

早紀は「ずっと海外で育ったけど日本人だという確信が強いです。友達には『早紀ってほんとうの日本人じゃないよね』って言われたことがあります」

主税は「昔はつねにアイデンティティが揺らいでいました。特に大学を卒業する前後に今後どのようにキャリアや人生を

2011年夏、安曇野穂高町の碌山美術館にて。日本には毎年帰国していた。



進めていくか悩んでいたところは揺らぎました」と言う。けれども最近はまだあまり気にしないようにしているそう。

「アメリカは多様性が当然の国なので、日本人とジャパニーズアメリカン両方のアイデンティティを持っていても自然だと思います」

オリンピックなどを観戦しているときはかならず日本を応援するそうだ。

毅志は「小・中学生のときはいろいろなアイデンティティを探し出そうとしたことがあります。でもいまは固定しています」と言う。

仕事ではカリフォルニアの社会問題にかかわっているのが自分「アジア人」だと意識することが多いそうだ。

大地は「大学に入ったころ少しだけアイデンティティが揺らいだ時期があり、友達をつくらうとしても自分はどの人たちといちばん気が合うか不安がありました。アメリカ人でもなく日本人でもないってすごく感じました」と言う。いまは「日本人」というアイデンティティを意

識することが多いそうだ。

「さまざまなアイデンティティを持つ人と接しているので、どのように自分のアイデンティティをもとに個性的な意見を出せるかつねに考えています」

## 子どもたちが巣立って

晶子は末っ子の大地が大学に入学するとき、入寮につき添った。

「サマーキャンプに連れていって、一カ月後にはお迎えに来るような感覚で寮をあとにしました。ところが別れてみると想像以上に寂しくて悲しくて、そのあと半年ぐらひは大地の部屋がある二階に行けなくなりました」

晶子の子育ては卒業だ。

そして晶子はバワフルに行動する。オンライン講義を受け一年に二、三回日本に行って通学し大学院を卒業した。修士論文のテーマは「継承日本語学習に対す

る社会的環境の影響——自分の目指す日本語力を習得するために——」だ。

また、海外に暮らす子どもたちとその家族をサポートする「JPNClass (<https://jpnclass.com>)」いう非営利団体を運営し、三つ以上の国で日本語教育を受けた子どもを対象に調査した英文の論文も書いた。補習校やインターナショナルスクール、さらに大学で日本語を教えながら大車輪の活躍だ。

現在、均と晶子はヒューストンで愛犬と暮らす。子どもたちが巣立っていたいま、均は「アメリカ、フランス、そして日本で生活してみると、それぞれの地のよい面悪い面が見えてきます。このパンデミックが一段落したら、アメリカにも日本にも拠点を持ち行ったり来たりできたらいいと思います」と言う。

子どもたちは大人になってあらためて均と晶子に感謝のことを惜しまない。

大地は「日本で育ったふたりが外国に引越すのはすごい勇気が必要だったと思います。でも、そのおかげで皆さまさまざまな経験ができて性格やパーソナリティにいい影響があったと思います」と話す。「ホームタウンは我が家」を貫き家庭を大切にできた両親のもとで、子どもたちは日本人としての誇りを持ちつつ視野を広げ自分で決めた世界で羽ばたいている。(終)

スカイダイビングに挑戦した早紀と均。ヒューストン郊外にて。2016年春。



本欄では取材対象家族を募集しています。50ページのEメールアドレスへお気軽にご連絡ください。



## マイネーム イズ モゴモゴ……

### プレゼンカ

SMILE!



笑顔が得意だ。

「ことばキャンプ」主宰 高取しづか

「自立して生き抜ける子に」

<https://ameblo.jp/t-shizuka/>

<http://kotobacamp.com>

### ～ 7つの力 ～

度胸力：恐れずに言う 論理力：話を組み立てる

理解力：話を理解する 応答力：受け答える

語彙力：ことばを知る 説得力：理解してもらう

プレゼンカ：アピールする

コミュニケーションで、ことば以上に与える印象が大きいのは、顔の表情や姿勢、声の大きさといったノンバーバルな部分です。  
アメリカで暮らしていたとき

に、英語の先生からいつも「Please speak up!!」(もっと大きな声を出して!!)と注意されていました。普通に話しているつもりでも、声が小さすぎたのです。ですからアメリカにいるときには、意識して口を大きく開けて、はっきり声を出すことを心がけていました。

そのうちに「あなたは日本語で話しているときとでは、声の大きさが違うわね」と友人から言われるようになったほど。胸を張って笑顔ではっきりくっきり話せるようになる、それだけで自信があるように見えますものね。

特に注意していたのが自己紹介のとき。初対面の人に対して自分の名前を伝えるとき、日本人の場合、「マイネームイズ、モゴモゴ……」と肝心の部分が聞き取りにくいことが多いのだそうです。外国のかたにとって、日本人の名前は耳慣れていないこともあるでしょう。

アメリカでは会話のなかで頻繁に名前を呼び合うので、名前を覚えることはとても重要でしょう。「モゴモゴ……」では何度聞き返さなければならぬことになるでしょう。そこ

で、名前の部分はとめてゆくり、はっきり、大きな声で言うように心がけていました。それと、私は自己紹介のネタを用意していました。

私の名前は「Shizuka」。外国のかたに自己紹介するときには「Shizuka (静)」というのは、日本語で「Quiet」っていう意味なんです。親はおしとやかな女の子を望んでいたからでしょうね」とにっこり笑顔で伝えるようにしました。すると相手のかたは「たいていの親は子どもに願望があるものよね」とか「裏切られることもしばしば(笑)」とジョークが返ってきて、つかみはOK! 打ち解けてから会話がスタートしたのでした。

外国のかたは、日本の漢字に興味があることが多いようです。自己紹介のときには、はっきりくっきり言うことはもちろん、名前の意味や由来などの「オリジナルネタ」をつくっておくと、会話の糸口になりますよ! 話の内容はもちろんですが、話すスピードや声の大きさなどを意識して、より気持ちのいいコミュニケーションをしていきましょう。

### プレゼンカトレーニング

ことばキャンプの「プレゼンカ」とは、ことば以外の表現力です。声の大きさや顔の表情、背中がピンと伸びた姿勢など、相手にアピールする表現力をいいます。ことば以上に、人の印象を左右する重要な要素です。

### ワーク「ロバクゲーム」

声を出さずに相手に「ロバク」で普通に話しかけて、相手がそのことばがわかるかどうかというゲームです。わざと口の開きを抑えたりせず、「普通に」話しかけないといけません。

その後、口を大きく開けて正解を言います。「はっきりくっきり」言うことの大切さを感じてもらえれば幸いです。

部屋の端と端にふたりで向かい合って立ちます。

そこから声を出さず、ロバクで相手に話しかけてみましょう。

相手に伝わったか聞きます。その後、口を大きく開けて、声に出してはっきり言ってみましょう。

## 北京 日本人学校



故宮



万里の長城

## Japanese School of Beijing

URL <http://jsb-cn.com>

児童生徒数 小=155人 中=46人

## 温故知新の国際都市

中華人民共和国の首都北京市は、十六区二県を管轄する直轄市である。面積は一万六八〇〇平方キロメートルで、四国の面積にほぼ匹敵する。大陸性気候のため寒暖の差が大きく、夏は気温が四十度を超える日もあれば、冬は最低気温がマイナス十度を下回る日が多くある。

北京市には万里の長城や故宮など、合計七つの世界遺産があり、歴史的・文化的な魅力にあふれている。その一方で、二〇二二年の北京冬季オリンピックに向けて、道路や地下鉄の建設など、都市開発が盛んに進められている。人々の生活はキャッシュレス化・スマート化が進み、防疫対策も健康コードアプリで行

## 現地の教育環境

われている。北京市は中国の政治と経済の中心地でありながら、古いものと新しいものが相反することなく調和した、他に類を見ない国際都市といえよう。

中国の教育制度は小学校六年、中学校三年、高等学校三年、大学四年で、いずれも九月に年度が始まる二学期制である。

北京には世界中から政府や企業の関係者とその家族が集まっているため、本校をはじめ、イギリス系、ドイツ系、フランス系、韓国系、カナダ系など多くの外国人学校がある。日本人の子どもの多くは本校で学んでいるが、インターナショナルスクールや現地校の国際部などで学ぶ子どももいる。

北京市内の日本人が多く住むマンションには私設の日本人幼稚園や学習塾を設けているところがあり、多くの日本人



校舎の全景



小学部1年 北京動物園でパンダと



小学部3年 スーパーマーケット見学





小学部6年 修学旅行  
西安にて兵马俑を見学



中学部 日中友好国際交流弁論大会



小学部4年  
図画工作科



全校遠足 縦割り班で世界遺産天壇公園へ

文化体験学習 少林拳に挑戦



日中仏独で国際ドッジボール大会

の子どもたちが通っている。  
教育関連施設のコロナ禍における防疫対策については、北京市や各区の教育委員会から定期的に指示があり、毎日の体温報告や防疫対策マニュアルの作成など、現地校・外国人学校問わず一貫した取り組みが行われている。

## 北京日本人学校ならではの教育活動

小学部と中学部が併設されている本校では、小一から中三までが協力する縦割り班活動を行っている。この活動を通して、中学部や高学年はリーダーシップを身につけ、低・中学年の子どもはフォローシップを学んでいる。

北京ならではの校外学習や特別授業が多いのも本校の特色である。パンダがいる北京動物園を訪れる小一。有機栽培農場の見学など、身近な地域について調べる小二。学校周辺の町探検や日系スーパーの見学を通して人々の生活を学ぶ小三。ごみ処理施設や消防署の見学などから人々の工夫や努力について調べる小四。自動車工場だけでなく製薬や電化製品などの工場見学を通して日本の産業について調べる小五。北京原人遺跡や盧溝橋を見学し、実物から歴史や日中関係について学ぶ小六。現地校の北京市月壇中学と運動会や国際交流弁論大会を合同で行い、日中の交流を深める中学部。

そのほか、天壇公園や頤和園などの世界遺産で行う全校遠足、フランスやドイツの子どもたちと開催する小学部低学年の国際ドッジボール大会など、数えればきりがないほどである。小一から英会話学習、中国語学習を行っている本校の児童生徒は、北京ならではの豊かな体験活動を通して、多文化を理解する態度や国際性を育んでいる。コロナ禍に伴い、本校でもこれまで通りの教育活動を行えない状況があった。しかしGIGAスクール構想を前倒しして一人一台のタブレットを導入し、ふだんの授業はもちろん、課題のやり取りや卒業式などの式典関係まで、オンラインで行うことができるようになった。また、これまでの教育活動を新しい視点から見直し、小六と中二が合同で北京市内の世界遺産を巡る修学旅行を実施するなど、コロナ禍に対応した新たな活動を創出している。

(二〇二二年十一月現在)

## 子どもたちから

北京にあり、日本にない学習を  
することが出てきます。(小6)

小学生と中学生と一緒に色々な活動  
をします。(小6)

様々な学年の友達や国の人と交流で  
きる、国際性のある学校です。(中1)

# トゥールーズ

## 補習授業校



トゥールーズ市内を流れるガロンヌ川



サン・セルナン聖堂

### Association Franco-Japonaise à Toulouse

URL <https://afjt.fr/index.php/ja/>

児童生徒数 幼=11人 小=19人

### アール・ド・ヴィーヴルの 息づく街

トゥールーズ市はフランス南西部オクシタニー地方に位置する、人口約五十万人のフランス第四の都市。約三〇〇人の在留邦人が暮らしている。南フランスというとりゾート地のような印象を受けがちだが、トゥールーズはこじんまりとした地方都市である。近郊には豊かな自然が残り、地中海

やピレネー山脈にも車で一時間半程度で行けるため、都市に暮らしながら手軽に自然を満喫できる。

エアバス社を中心にした航空、宇宙産業で知られているが、医療研究機関やIT系企業も集まり活発な産業活



トゥールーズ校借用校舎

### 現地の教育環境

動が展開されている。また大学都市としても発展していて、多くの学生が集まり活気がある。トゥールーズの大学は日本の複数の大学と提携関係があり、近年は交換留学で来る日本人学生も増えている。

暮らしの隅々にフランスならではのライフスタイルが息づくエキサイティングな街である。

フランスの義務教育は三歳(幼稚園)から十六歳(中学校)まで。バカンスが多いせいか、一日あたりの授業時間が長いのが特徴だ。一般的に、幼稚園と小学校は八時半から十六

時ころまで、水曜日は午後のみで、午後には習い事に励む子どもが多い。本校の子どもたちも同様だが、乗馬やラグビー、ハーブやドラムなど、日本では珍しい習い事をし



トゥールーズ校 低学年クラス 国語





パン食い競争



玉入れ

—— 運動会 ——

## 子どもたちから

ひろ(い)ところ  
(かい)  
こうさくがたのしりです。(小3)

ともだちとうんとうかい  
やおもちつきができて  
すきです。(小3)



トゥールーズ校  
中学年クラス



ラベージュ校 高学年クラス 国語



ラベージュ校 低学年クラス 国語



ラベージュ校 幼稚園クラス

## コロナウィルスを乗り越えて

にいる子どもも多い。  
フランス語が未習得でも外国人向けのクラスが設置されていることは稀で、ほとんどの場合、現地校の通常クラスへの入学となる。美術・音楽教育は教師の裁量に左右される部分が大きいが、さすが芸術の国フランス、幼稚園から積極的に地元の美術館を見学するなど、年齢に合わせた美術教育も盛んである。コロナウィルス感染症の拡大に伴い、中学や高校ではオンライン授業も行われたようだが、小学校などでは難しい面も多く、全般的なICT教育はこれからの動向に期待したい。

当地にはインターナショナルスクールもあるが、本校の子どもたちのほとんどは現地校に通学している。

開校十六年を迎える本校には、市内にあるトゥールーズ校と郊外のラベージュ校の二校に、幼稚園から中学生まで約三十人の子どもたちが学んでいる。継承語としての日本語教育を中心にした、少人数の複式クラスである。

二〇二二年三月にコロナウィルス感染症による一回目のロックダウンが行われて以降、他の補習授業校と同様に、手探りの状態でオンライン授業を行う日々が長期間続いた。そのなかでも子どもたちは、画面越しにオンラインな

らではの楽しみ方を見つけ、その柔軟性には感嘆させられた。フランスでは一回目のロックダウン以外は学校での授業を維持する方針が貫かれ、現地校はほぼ通常通りの授業が行われ非常に助かったが、補習授業校は施設使用許可がなかなか下りずオンライン授業が続いた。子どもたちも友達に会えず残念がっていたが、遠方から通学する家族にとっては往復数時間の通学がなくなったり、フランスの別の地方からオンライン授業のために入学した児童がいたりするなど、ポジティブな点もあったことがせめてもの救いだ。

二〇二〇年度はあらゆるイベントが中止となり非常に残念であったが、今年度は十月に運動会を開催することができ、昭和の香りが残る補習授業校ならではの運動会を二年ぶりに楽しむことができた。通常ならば長期休暇を利用して日本に帰国し、なかには日本の学校に短期入学するという貴重な体験をする子どもも少なくなかったが、コロナウィルス感染症の拡大以降は日本に帰国できていない子どもが多い。授業体制の変更が原因で退学するケースもあり非常に残念な気持ちは否めないが、このような状況で補習授業校の重要性はますます高くなると思われる。まだ落ち着かない状況は続くが、彼らが成長したときに「コロナ禍でも日本語の勉強をがんばったよね」と言ってもらいたいものだ。

(二〇二二年十二月現在)

SAPIX YOZEMI GROUP

# SAPIX

サピックス

## 国際教育センター

オンライン双方向授業で、海外にしながら受験対策

### 帰国入試対策講座 オンラインコース

申込  
受付中

開講科目

海外にお住まいの **新小6生** (現小5生) ▶ 算数、国語

海外にお住まいの **新中3生** (現中2生) ▶ 必修 数学、国語 選択 英語

3月上旬申込受付開始

**2022 前期 帰国入試進学セミナー** オンライン開催

最新の入試情報から帰国生ならではの受験対策、夏の過ごし方などについて講演します。

**SAPIX**  
サピックス  
国際教育センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-32-7 1F  
TEL.03-5388-6215 FAX.03-3370-6601  
E-mail sapix-international@sapix.jp

[kokusai.sapix.co.jp](http://kokusai.sapix.co.jp)

ライブ  
配信

〈関連事業紹介〉

Best Teacher

YGC  
Y. GARCIA GLOBAL CAMPUS

SAPIX English

SAPIX USA

Triple Alpha



お申し込み・詳細は、左記二次元コードより  
SAPIX国際教育センターホームページを  
ご覧ください。

高校生のための「法学」講座

実はやさしい  
「法学」のハナシ



コラボ企画

大学通信 × 立正大学法学部

例えば・・・

- カンニングは罪に問われるの？
- 約束と契約ってどう違うの？
- 無期懲役って軽い刑罰なの？

▶ 気になる回答は  
大学通信HP専用サイトへ



「法学」と聞いてイメージするものは何ですか？「条文の丸暗記」「聞き慣れない専門用語のオンパレード」「難しい講義」…  
こんなイメージから、なかなか親しみが持てないのも事実でしょう。

しかし実は、コンビニでパンを買ったり、電車やバスに乗るといったごく日常的な行為すべてが、  
法律に定められたルールに従っておこなわれていることをご存知ですか？

法律は、私たちの実生活と切っても切れない、とても密接なものです。

「法学」を学ぶということは、法の考え方を理解し、現実の社会で生かすことです。

ここでは、「難しい」「硬い」という印象の強い「法学」が、  
実は「身近で親しみやすい」学問であることを、  
立正大学法学部の教員が紹介します。

画面内どこでも  
クリックすると  
専用サイトが出ます





# 東京インターハイスクール

米国の「学習力教育」をモデルに2000年に創立された学校です。



## 通信制

### インターネットで自由に学習

登校義務なし(登校日0日)  
世界中からいつでも入学・卒業  
赴任先々で継続して学習可  
学習はインターネットでOK

## 単位制

### 自分流に学習して単位履修

自由に科目設定して単位履修  
自分の興味と関心が学校科目  
受験勉強や留学準備が卒業単位  
テストなし、提出物で評価決定

## 学習サポート

### マンツーマンのサポート

生徒に専属の担任学習コーチ  
コーチングアプローチで目標達成  
日本語でも英語でも対応可能  
卒業と進学を全面サポート

## 進路実績



### ❖ 卒業生: 原谷郷音さん

アメリカの高校を卒業まで数か月のところで帰国し、自分で探して見つけた東京インターハイスクールに入学。自分の関心や興味を追求してユニークな学習を楽しみ、半年で卒業し、最難関といわれるミネルバ大学への進学を決める。

東京慈恵医大、山梨大(医)、東京外大(独)、千葉大(工)、名古屋大(理)、長崎県立大、東京理科大、早大、慶大、上智大、ICU、国際教養大(秋田)、同志社大、成蹊大、APU、法政大、青山学院大、中央大、立教大、獨協大、明学大、聖心女大、東洋英和女大、多摩美大、武蔵美大、iCLA、京都造形芸術大、東海大、関西学院大、Minerva U、Harvard U、Singapore NU、New York U、London U、The Open U、Seattle U、Berklee Music C、Hawaii Tokai International C、Temple U、Penn State U、Arizona State U、他多数

## 2022年4月24日(日)に春の入学卒業式を開催します！

毎月入学、毎月卒業が可能な当校では、直近半年で入学または卒業した生徒の皆さんを対象に、年に2回、春と秋に合同の入学卒業式を開催しています。同イベントは、日本・海外のインター生と出会い、卒業生一人ひとりの自分らしいサクセスストーリーに触れ、当校の生徒たちの様子や学校の雰囲気を知ることのできる絶好の機会となっております。

このたび、2022年4月24日(日)に本年春の入学卒業式を開催いたします！検討者の皆様もちろんご参加いただけますので、ご興味ある方はぜひお気軽に下記お問合せまでご連絡ください。

海外ふくめ遠方にお住まいの方でも視聴いただけます。

多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

### ■帰国生説明会

来校・スカイプ・ZOOMによる学校説明会を随時実施しております。下記までご連絡ください。

### ■2022年スクールイベント

4月春入学卒業式、7月オルカ・フェスタ(成果物発表会)、10月秋入学卒業式、他多数 ※詳しくはHPへ



「東京インターハイスクール」は米国ワシントン州のアルジャー・インディペンダンス・ハイスクールの日本校です

お問合せ ☎ 0120-327-181, TEL: 03-6427-3450

受付時間: 平日 9:00~17:00

東京インターハイスクール

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-23-18 ワールドイーストビル4F

<https://www.inter-highschool.ne.jp/>

Skype ID: interhighschool

[info@inter-highschool.ne.jp](mailto:info@inter-highschool.ne.jp)



# 思い出の本に出会える小学校

## 洋書 5000 冊・和書 5000 冊を揃えるバイリンガル図書館

「あっ、ママ。

見て見てこの本！懐かしい」

「わー、ほんとだ。

あっ、これもよく読んだよね」

海外から転入を考えて見学に来た親子は、洋書が並ぶ本棚の前でひとしきり盛り上がる。

帰国してから少いうつむき加減だった子どもに笑顔が戻っていた。

1冊の本が子どもの心を救うこともある。

「人と違うことは宝、一人ひとりに同じ対応をすることが平等ではなく、それぞれの子どもに合った対応をすることが平等。常に主役は一人ひとりの子ども。」という LCA 創設者である山口紀生の考え方が生み出したこの知の空間には、子どもたちの「こうしてほしい」を叶えてくれる司書がいる。

子どもたちの目線で考えられた多くの手作りファイル（写真：左）や造作物には、アナログで手のかかることにこそ惜しみなく時間を注ぐ司書の思いが溢れている。

帰国子女が、LCA で自分らしさを存分に発揮できるのは、この図書館をはじめとし、安心して自分の意見を発言できる環境と、その意見をしっかりと受け止め形にしてくれる先生がいるからなのです。

LCA 国際小学校 司書 宇田典子

### 図書館のもうひとつの役割

転入生の多い LCA。司書はいち早く転入生の趣味嗜好を捉え、同じ趣味を持った児童と引き合わせて、本を通してコミュニケーションを育み友達作りをサポートします。これは、在校生約 300 人の趣味嗜好がほとんど頭に入り、全校児童と密にコミュニケーションをとっている司書だからこそできる素敵な役割ですね。この図書館では学年を超え、同じ分野に興味を持つ子どもたちのつながりができています。

### Lexile 指数をご存じですか？

LCA の児童は毎年 TOEFL Primary®、TOEFL Junior® を受け、リーディングレベルとともに Lexile 指数が判定されます。Lexile 指数とは「読解力」、「文章の難易度」を示す指標です。図書館の洋書にはこの指数に応じて色分けされたシールが貼られていて、自分のレベルに合った本を簡単に見つけられるように工夫されています。実は、Amazon でもこの指数が表記されています。ご存じでしたか？

### 司書は“本のソムリエ”

子どもたちはたくさんの疑問や質問を投げかけてきます。この時こそ“本のソムリエ”の本領発揮です。「その子の疑問を解決できるのはどの本か、さらに興味を広げるためには何を薦めようか」一人ひとりに合わせて考えます。その場ですぐに回答できなければ、手紙に書いて必ず帰りまでに届けます。モットーは子どもの興味関心が冷めないうちに応えること。こうして子どもの知的好奇心を大切に育んでいます。



LCA 国際小学校

〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-1  
TEL | 042-771-6131 | FAX | 042-771-6132  
| 最寄駅 | JR 線、京王線 橋本駅 北の丘センター向い

学校見学会開催中！  
随時受付  
詳細は HP をご覧ください

<https://elementary.lca.ed.jp>

LCA 国際小学校

検索





女子学生会館

# 文京カテリーナ

一人の時間も、友達との時間も…

プライベートとコミュニケーション空間が両立した、心豊かで充実した学生生活を

最新式ICカードシステムで早朝深夜対応の門限制度。

都心ながら随一閑静な高台に建ち、  
当たり前の日常生活を心を込めてお届けする。

多忙な学生生活にうれしい、

充実の共用水周りはお掃除いらず！

大浴場や共用キッチン、ランドリー室は終日利用可。

スーパー・コンビニは徒歩1～3分圏内、

駅も5分で夜間でも安心かつ便利な環境です。

## POINT

食堂は22時まで  
利用可能。  
23時までなら  
お弁当に早替わりで  
安心の食生活



共同浴室

会館屋上からの風景



## POINT

完全個室の  
シャワールーム、  
いつでも入れる  
大浴場で  
毎日リフレッシュ



ロビー



ピアノ 持込可の居室

## ▶アクセス

都営三田線「千石」駅より徒歩5分、JR山手線「巣鴨」駅より徒歩12分、  
都バス（早稲田～上野松坂屋前）千石2丁目バス停前

## ▶主要駅までの所要時間

新宿…巣鴨駅より20分、水道橋…千石駅より8分、東京…巣鴨駅より25分、  
三田…千石駅より19分、早稲田…千石2丁目バス停より20分

ご入館のお申し込み・お問い合わせは

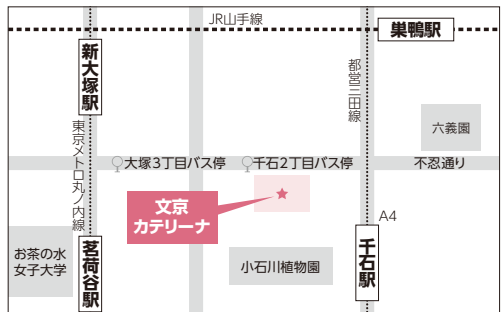
女子学生会館 **文京カテリーナ**

〒112-0011 東京都文京区千石2-30-12

TEL.03-3942-2291

FAX.03-3945-2281

www.katerina.gr.jp/



オンライン授業にも万全の体制。全室超高速ネット回線完備！



**英語独習法**  
今井むつみ 著  
岩波新書  
税込価格 880円

本誌の読者の中には、中学、高校、大学と日本の学校で英語の勉強をしてきたけれど、英語力には自信が持てないという方もいらっしゃるでしょう。また現在、海外で英語を使って生活されている方や、海外で英語を使う経験をされ、もつと高度な英語力を習得したいと思っている方もいらっしゃることでしょう。真剣に英語力を身につけたいと学習したが、期待したほどの効果が得られない経験をした人ほど、効果的な英語学習法を教えてほしいと考えるのは理解できます。

このような方たちのニーズに応える形で、街には短時間で、それほど努力をしないで英語ができるようになる方法を紹介している本がたくさんあります。第二言語習得の理論に基づき、しっかりとした内容の英語学習法の良書もありますが、残念ながら英語学習で挫折した人が飛びつきたくなるようなタイトルの本も多く見かけます。また、簡単に英語が習得できるようなことが書かれた本がよく売れているのも事実です。評者は、日米両国で初等・中等・高等教育を受け、米国の大学から博士の学位を取得し、日米の大学と大学院で言語学、応用言語学、英語教育学を教えてきました。日本の文部科学省の英語検定教科書の執筆にも三十年以上かかわり、第二言語習得に関する論文や著書も多数あります。そのような立場からはっきり言えることは、「楽をして英語力を身につける方法などない」ということです。苦労しないで英語を習得する夢のよ

うな方法はありません。しかし、学問的に裏付けられた合理的な勉強方法はあります。本書の著者は認知科学の研究者です。認知科学の中でも、認知心理学、特に子どもの母語の習得を長年研究し、母語の習得過程や特徴は思考の発達と深くかわっていると述べています。英語の学習の際も、記憶や理解に関する認知科学の理論に則った学習法や指導法が大切であると説いています。それは認知心理学的視点から見れば、わかりやすく教えたとしても、教えた内容が必ずしも学習者の脳裏に移植され定着するわけではないからだとしています。本書は、認知科学で知られている学習方法を外国語学習に当てはめ、英語の合理的学習方法を提案しています。さらにその学習法が合理的である理由を説明しています。この点が、他の英語学習本とは違う点です。日本人がつい誤って使ってしまう英語表現を集めた本には今まで何冊も出会ったことがあります。役に立つ英語表現を集めた良書も多くあります。しかし、これらの英語表現を頭に詰め込んでも英語は必ずしも上手に使いこなすことはできません。このことについて、本書は認知の仕組みから解説しています。ど

の分野の学びにも共通したツボがあります。学習の一般的な法則を英語学習に役立てるといって、認知科学の研究者らしいアプローチがとられています。

本書は、「幼児期から英語に触れていれば自然に高度な英語力が付くのか」、「英語の四技能は、最初からバランスよく学習する方が合理的なのか」、「英語を大量に聞いたり読んだりすればビジネスで通用するレベルまでの話す力や書く力が身につくのか」、などの問いについての答えのヒントも与えてくれています。

英語学習は、ただ時間をかければよいわけではありません。注意を向けて取り組み、自分の進歩を糧に、自分なりの学習方法を編み出して学び続ける必要があります。ことばは奥深く、面白いものです。ことばがいかに多様に世界を切り分け、分類・整理しているかについて本書は教えてくれています。

本書を読むだけで、英語力がすぐに身につくわけではありません。しかし、英語学習という長い道のりの道標として役に立つことは、間違いありません。これからずっと、気長に英語の勉強を続けたいと考えている方に一読をお勧めしたい一冊です。

(選・評) 服部孝彦



# 子どもはアメリカの 現地校に通っていますが、 先生とうまくやれていない ようです。どうしたら よいのでしょうか。

海外子女教育振興財団  
教育相談員

佐々 信行



プロフィール (さっさ のぶゆき)  
1971～92年、横浜市立小学校教諭(74～77年、  
ハンブルグ補習授業校教諭)。1992～2001年、  
バージニア州グレートフォールズ小学校イマージョン  
プログラム教諭(同時にワシントン補習授業校教諭)。  
長女はドイツ生まれ、長男はアメリカで中高時代を  
過ごす。2001～08年、啓明学園初等学校校長。  
08～14年、啓明学園中学校高等学校校長。

## 「先生がこわい」かも

日本の小学校からアメリカの  
小学校へ移った子どもは「先生  
がこわい」と感じるかもしれま  
せん。逆に、アメリカから日本  
の学校に入った子どもは「先生  
がもつとこわい」と思う  
ことが多いようです。

もちろん地域や学校によって

違いはありますが、日本の小学  
校に行くと、授業時間中であ  
ちこちの教室から子どもたちの  
声や授業をする先生の声が聞こ  
えてくるでしょう。子どもが集  
まるところですから、少しうる  
さいぐらいの方が活気があつて  
いいと思う人は、日本なら少な  
くないと思います。しかし、こ  
れがアメリカの学校に慣れた帰  
国児童にとっては「日本の学校  
はうるさくていやだ」と悩みの  
種にもなるのです。

一般的に、アメリカの小学校  
に入ると、学校の中は静かです。  
先生もあまり大きな声を出しま  
せん。教室を静かに保つことも  
先生の大切な仕事です。先生が  
大きな声を出すのは、ほんとう  
にその必要があるときです。

## 「先生への期待」が違う

私は日本で二十年近く教員を  
やってからアメリカの小学校の  
先生になりました。最初は、特

に低学年の先生の厳しさに驚き  
ました。日本の子どもたちなら  
震え上がるくらいの迫力です。  
でも子どもたちにしてみれば、  
先生が厳しく秩序を守ってくれ  
るので安心して学校に行けると  
いうことになるのです。保護者  
もそんなものだと思っています。  
日本では先生も子どもたちも、  
ほぼ同じような文化のなかで育  
っているのです、言わなくてもわ  
かり合えるようなところがあ  
ります。ところが、アメリカには  
さまざまな文化的な背景を持つ  
子どもたちがいます。先生がは  
つきりした基準を示して厳しく  
守るようにしつけることが必要  
なのです。

アメリカの先生になったとき、  
「一貫性 (consistency)」の大  
切さを強く言われました。行為  
には結果 (consequence) が  
伴うことを子どもにわからせな  
くてはなりません。もしも違反  
があつた場合には、いつでも、  
誰に対しても同じ結果(「罰」と

は言いません）が起きるようにすることが必要です。それによって、子どもたちは安心して学校生活を送ることができるのです。

「今度だけ特別」とか「慣れないから大目に見る」とかというようなことがあつてはなりません。それでは、先生が自分で決めた決まりを自分で破っていることになり、子どもに「決まりは守らなくてよい」と教えることになります。

私が教えていた四年生で、「宿題を提出しなかったら昼休みに外へ遊びに行けない」という決まりがありました。でも宿題をきちんと出すのが苦手な子どももいます。ある金曜日、一週間の間一度も外で遊べなかった子が私のところに来ました。

「先生お願い、今日だけ外へ行ってもいいですか。来週は宿題をちゃんと出しますから」

遊び盛りの四年生にとつて、外へ行けないのはつらいことで

す。その表情を見ていられなくなって、「絶対に約束が守れるんだね」と念を押して、外へ行くのを許してしまいました。その子はまさか許されるとは思わなかったでしょう。「信じられない」という大喜びの表情で遊びに行きました。日本の学校であれば、「子どもの気持ちを考えた温かい措置」ということになるかもしれません。しかし、私は同僚の先生から厳しく注意されました。

その子が「自分の気持ちをわかってくれた先生との約束だから絶対に守る！」と次の週から宿題をきちんと出すようになったでしょう。それができくらないなら、金曜日まで一度も遊びに行けないようなことにはなっていないでしょう。もちろん私のしたことはアメリカの先生としては失格です。

しかし、頭ではわかっていても、身染みている行動様式は簡単には変えられません。教室

の秩序をしつかり保って安心な環境をつくるという面では、うまくいかないこともありました。そのつど、同僚の先生や校長に助けてもらいました。

アメリカの先生たちも、自分のクラスや学校で子どもたちが幸せに学校生活を送ることを何よりの誇りに思う人たちでした。

### コミュニケーションがカギ

先生の立場でもそうですから、日本の子どもが児童生徒の立場でアメリカの学校に入つていったら、やはり戸惑うことがあるに違いありません。それは、ときには「先生とうまくいかない」という形を取ることもあるでしょう。

いけないことをしたら、だれでも同じように厳しく叱るのがアメリカの先生です。アメリカの学校生活に慣れないころ、先生に叱られることがあり、なぜ叱られたかよくわからないよう

だったら、すぐに先生にわけを聞いてお子さんに説明してください。なぜ叱られたかわかれば、同じことを繰り返さなくて済みます。もしわからないままにしておくと、何度も叱られて、「先生は私のことが好きではないんだ」と思うことになるかもしれません。

心配なことがあつたら、小さなことでも先生に相談してください。心配は小さいうちに解決してあげることが大切です。学校での人間関係のトラブルは、不安が不安を呼び、誤解が誤解を生んで大きくなることが多いのです。

どんな用件であれ、保護者が先生と話すことは子どもの安心感につながります。パパやママと仲よくお話ししている大人は自分の味方に違いありません。英語が得意でないから学校に行くのはハードルが高いというかたもあるかもしれませんが、アメリカの学校で英語が得意で



ない保護者がいるのはあたりまえのことです。先生の方も、お父さんやお母さんが来てくれれば助かります。わざわざ連絡するほどではないがちよつと気になることを尋ねてみたり、小さなニュースを伝えたりすることができるところです。

ふだんはスクールバスで通う場合が多いと思いますが、ときどき理由をつけて送り迎えをして先生とことばを交わすことをお勧めします。

### 次の手順も決まっている

とはいえ、人間同士なのでどうしても相性が悪いということもあります。先生としても、担任する児童生徒のなかに「つき合いにくい」子どもがいることがあるのです。できるだけそれが表れないように努めてはいませんが、そんなときは子どもの方も何かしつくりこないところがあるものです。子どもの態度が

反抗的に見えたり、先生の方が感情的になったりすることがないといえませんが。

どうしても先生との関係がうまくいかないとき、特に先生が明らかに人権への配慮に欠けていたり、差別的であつたりした場合には、具体的な事実を記録して校長など管理職の先生に相談してください。

管理職は、教室で教える先生とは別の職種です。問題の処理の仕方を心得ていて、プロのやり方で対処してくれると思います。

日本とはひと味違う解決の方法もあります。私の学校で、ひとりの子どもが学年の途中でいつのまにか隣のクラスに移つていたことがあります。どちらのクラスの担任も私の目から見れば頼りになるよい先生でした。先生との問題ではないかもしれませんが、何かトラブルを解決するための措置だったのだと思います。

学校の中で「あつてはいけないこと」も起こり得るという前提で、それに対応する手順が学校の『保護者ハンドブック』や学校のサイトのなどに書いてあります。担任でだめなら校長、校長に言つてもだめなときは「学校のこの窓口へ」という具合です。アメリカですから、最後は裁判でということになるでしょうが、さすがにそこまで行くのはよほどの場合です。

### 思いがけない展開も

海外子女教育振興財団が引き受けたプロジェクトの仕事でフェイスブックを立ち上げた際、私の名前がネット上に出了ました。すると、二十年前のアメリカでの教え子から突然メッセージが届きました。「小学生のころはよくない生徒でごめんなさい」という趣旨のことが書かれていました。正直、私にとつては「得意でない」子どもで、少

し苦労をしました。彼女の方も相性の悪さのようなものを感じていたのでしょうか。年ごろからいつても「この先生に言われると逆らいたくなる」というところだったのでしょうか。彼女が中学校に進んでからは会うこともありませんでしたが、長い時間がたつてからこのように連絡をしてくれるとは思ひもよりませんでした。すっかり大人になつてはいても添えられていた写真には子どものころの面影がありました。苦労が一度に報われた思いがしました。

「うまくいかない先生」との関係がうまくいくようになればそれに越したことはありません。しかし、先生とおつき合いは一時的なものです。お父さんやお母さんがそれを理解して努力してくれたというのは悪くない思い出として残るでしょう。私の場合のように、何年かたつてから思わぬ展開がないと限りません。



しまねけん

## 島根県



あいうえお順で紹介していきます。

1都1道2府43県  
～め・ぐ・り～

中国地方の日本海側に位置し、隣接する鳥取県に次いで全国で二番目に人口が少ない県。日本海側気候ですが比較的温暖です。ただし年間を通じて湿度が高く、曇りや雨の日が多い傾向にあります。

県鳥は「ハクチョウ」、県花は「ボタン」、県庁所在地は松江市。

## なんで、「島根」っていうの？

島根県の名前の由来は、県庁の置かれた松江城周辺が旧島根郡(嶋根郡)に属していたことによります。嶋根の名は『出雲国風土記』で八束水臣津野命の命名によると伝えられています。

さて、島根県の形は何に見えるかな？



飛びかかるシマリス？



① 島根県といえば「出雲大社」が有名ですが、何の神様がいて知られているでしょう。

A 縁結び

B 交通安全

C 学業成就

D 家内円満

② 島根県には「出雲時間」があります。「九時集合、出雲時間ね」と言われたらどういう意味？

A 早めに来てね

B 時間厳守だよ

C 遅めに来てね

D 少し遅れても大丈夫だよ

\*クイズの答えは奥付(P.50)をご覧ください。



島根の名物料理  
を紹介するよ～

## シジミ汁

シジミは肝臓の働きを助け、疲労回復にも効きます。砂抜きがカギ！



宍道湖で獲れるヤマトシジミを使ったしじみ汁。砂抜きを十分にしたらしじみを火にかけて、あくを取り、醤油や味噌で味付けします。しじみから出汁がよく出て、深い味になります。

宍道湖で獲れるヤマトシジミは粒が大きくて、宍道湖七珍(宍道湖で獲れるおいしい七つの魚介類)に数えられています。

なお宍道湖は日本全国のシジミ漁獲量の約三分の一を誇っています。







# 教育相談

本財団の教育相談をご利用ください

海外滞在中および帰国後に、お子さんが安心して教育を受けられるよう、専門の教育相談員が個別にご相談におこたえします。

## 出国前

- お子さんの出国時期
- 現地教育事情
- 学校選択 (日本人学校・現地校等)
- 出国前の外国語学習準備
- 母語の保持・育て方
- 現地生活事情
- 海外の学校での学習内容・方法

## 滞在中

- 現地での転学・進学
- 通信教育での学習
- 日本語力低下の懸念
- 統一テスト等の制度 (IB・SAT・GCE など)
- 編入受け入れのある学校
- お子さんの帰国時期

## 帰国後

- 小学校～大学の学校選択
- 受験資格
- 外国語の保持
- 遅れている学習のキャッチアップ
- 友人関係等を含む適応問題

※2021年10月現在、新型コロナウイルスの影響で面談相談は中止し、オンライン会議システムを使った相談を中心に行っています (電話・メールでのご相談も可)。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

※面談・電話・オンラインでのご相談は1家族1時間。予約制です。

※維持会員企業・団体に所属するかたとそのご家族のかたのご相談は無料です (維持会員一覧は下記本財団ウェブサイトに掲載しています)。

教育相談とは別に、教育や学校生活にかかわる次の情報等は随時提供しています。

お気軽にお問い合わせください (予約不要・無料)。

- 赴任地の学校情報 (日本人学校、補習授業校、現地校・インターナショナルスクール)
- 日本人学校・補習授業校の入学・編入学手続きや授業料・授業時間数などに関する情報
- 国内の学校情報 (帰国生選抜を実施する小学校・中学校・高等学校・大学等のほか約90の教育委員会)
- 渡航前および帰国時の学校関係書類の準備や各種手続きに関する情報

## お申し込み・お問い合わせ先

公益財団法人 **海外子女教育振興財団**

URL <https://www.joes.or.jp>

教育相談事業チーム TEL 03-4330-1352 FAX 03-4330-1355 E-mail [sodanjigyo@joes.or.jp](mailto:sodanjigyo@joes.or.jp)  
〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

関西分室

TEL 06-6344-4318 FAX 06-6344-4328 E-mail [kansai@joes.or.jp](mailto:kansai@joes.or.jp)  
〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル3階

# JOES Davos Next 2022

～ GLOBAL STUDENT SUMMIT ～

地球上で暮らし・学ぶすべての日本人の子どもたちに向けて、海外子女教育振興財団(以下、JOES)が進める「未来世代協創プロジェクト」。その中核イベントとして位置づけられるDavos Next 2022は、今年九月の開催に向けて着々と準備が進められています。

二月末まで受けていた第二期プレエントリにも、申し込みや問い合わせが多数寄せられました。そのなかで、京都大学IPS細胞研究所の山中伸弥教授による基調講演とその内容について、そして世界中の仲間と取り組むグループワークを、どうやって実施するのかという点に、注目が集まっています。

Davos Nextとは何か、そこで何が起るのか――。

前回に引き続き、発案者でありプロジェクトを精力的に推進しているJOES理事長綿引宏行が、Davos Nextについて語ります。

(只木良枝)

# JOES Davos Next 2022

～ GLOBAL STUDENT SUMMIT ～

Davos Next 2022に向けて **2**



## JOES Davos Next を語る ― 第2回

海外子女教育振興財団理事長

綿引宏行

### 山中伸弥教授の講演は オンラインですか。

はい。オンラインですから、世界中どこにいても視聴できます。

ところで、これはたんなる講義ではありません。参加者にはIPS細胞に関する学習資料を提供し、事前に質問をJOESに寄せてもらいます。当日はその質問やライブチャットからの声を進行役が適宜差し込んで、先生と対話してもらおうと思っています。PCの前で一方的に講義を視聴しているだけではなく、山中先生とキャッチボールができるのです。だんだん盛り上がりつつ「乱れ打ち」になるかもしれません(笑)、そうなの

### 参加者によるディスカッション もあるんですね？

たらいいなと思っています。

Davos Nextがたんなる講演会ではないという理由が、まさにそこにあります。山中先生の講演を受けて、世界中の参加者が国や地域を越えて地球の未来についていっしょに話し合います。そのグループディスカッションでは、たとえば「世界の人が幸せになるためにはどうしたらよいか」という問に対して、「病院の建設」「差別の解消」「教育の拡充」など、それぞれの国の事情を反映した回答があるでしょう。違う環境にいる日本の子どもたちが、その地域の視点を持ち寄り、話し合い、発信していく場にしていきたいと思っています。

具体的には数人のグループをオンラインでつなぎ、海外子女OB・OGである現役大学生のファシリテーターをひとりずつ配置します。次世代の若者が未来世代の子どもたちと協働するのです。彼らには指導してもらうのではなく、子どもたちの議論をそのまま引っぱり上げてほしいと思っています。「私もそうだった」「その経験はあと





## KEYNOTE SESSION

- 基調講演 -

日時：2022年9月6日(火)  
日本時間午前10時30分  
～12時(予定)

講師：京都大学IPS細胞研究所  
山中 伸弥 教授



© 京都大学IPS細胞研究所

テーマ：夢を叶える力

対象：オープン(講話レベル：中学生向け)  
※小学生も参加できるよう、基礎的な  
学習資料を事前配付します

方法：講師による講演およびインタビュー  
形式の質疑応答を Webinar でライブ  
配信するとともに、時差によりライブ  
で参加できない参加者のためにオン  
デマンド配信も行います。



## GROUP WORK SESSION

- 協働作業 -

期間：2022年9月～11月

対象：小学5年～中学3年  
(PART I に参加(オンライン/オフライン)し、  
かつ、グループワークに最後まで取り組める方)

内容：PART I に参加して各自考えたことをふま  
え、世界中の仲間とともに学びを深めます。

方法：・6～10人程度のグループで、オンライ  
ンでのディスカッション(3回程度)  
やオフラインでの協働作業を通じて、  
課題に取り組みます。

・各グループには海外子女OBOGもファ  
シリテーターとして参加し、子ども達の  
より良い学びのためのサポートを行いま  
す。



## NETWORKING SESSION

- 交流会 -

日時：2022年12月18日(日)(予定)

対象：PART II に最後まで参加した方

内容：滞在国・地域別等のグループでの交流会

## 「JOES Davos Next」 プロジェクトサイト

<https://www.joes.or.jp/kojin/jdnext>

本エントリー

2022年5月1日～31日

### プロジェクトチームについて 教えてください。

主催は発足したばかりの「全世界日本人学校校長会」です。この会によって、今後世界中に日本人学校の教育を発信できるようになり、子どもたちも先生がたも活性化するのではないかと期待しています。プロジェクトを実現するために、まず子どもたちが時空を超えて学び合うための仕組みが必要です。そこで、ICTを活用して教

育効果を上げるための研究を専門に行っている東京大学大学院情報学環の山内祐平教授が代表を務めるNPO法人Educe Technologiesおよび東京大学大学院情報学環の辻村清行客員教授等の力を借りました。

学校現場の代表として、複数の学校とオンライン同時授業を実施した経験が豊富な蘇州日本人学校学習指導部長齋藤暢先生にもご協力いただいています。

京都大学IPS細胞研究所基金室室長の小山房男さんは、山中先生の代理として参加し、橋渡しを務めてくださいます。

そして進行役を務めるフリーアナウンサーの桑原りささんと、

大学生ファシリテーターたちが参加します。ファシリテーターは全体で三十人程度となる予定ですが、プロジェクトメンバーには代表として四人のかたにご参加いただいています。

皆さん、未来世代の育成に共感を持ってくださる、まさに協創の主体です。プロジェクトの運営委員会では皆さんの熱意もあって具体的な議論がどんどん進んでいます。意見が活発に出すぎて話がまとまらないこともあるくらいです。

### これからの展開について 教えてください。

いよいよ開催する年になったので、年明けから内外で広報活動

本格化させています。国内の大手新聞で興味を持ってくださっているところもあります。日本人学校や補習授業校に属していない子どももたくさんいますから、現地の日本人向けメディアで積極的に告知しようと考えています。各地の商工会や日本人会に対しても働きかけしていきます。

ところでJOES Davos Nextのあとに、2022、とついているのにお気づきですか。これは、2023、2024と「これから毎年やっていくよ」という意味です。すでに来年度の講演者についても検討を始めています。

半年後に迫ったJOES Davos Next 2022、どうぞお楽しみに！

## ニュース

### 「CLEIL ワークショップ」を開催 (海外子女教育振興財団)

海外子女教育振興財団の外国語保持教室は上智大学国際言語情報研究所と協働で、昨年九月～十一月にかけてオンラインと対面を組み合わせた「CLEIL」のワークショップを全八回(各九十分)行った。

講師に上智大学言語教育研究センター准教授の逸見シャントール氏を招き、英検3級程度の小学四・五年生の九人が参加した。

「CLEIL」は「Content and Language Integrated Learning」(内容言語統合型学習)の略。算数や理科、社会などのテーマ学習と外国語学習を組み合わせた教育のアプローチで、外国語の効果的な教育方法として世界に広がっている。

「外国語で」学ぶCLEILの授業は「内容」「言語」「思考活動」「文化・国際理解／協同学習」が遵守されていて、次のメリットがあるといわれている。

- ① 学習する過程で語学の四技能「聞く・話す・読む・書く」をバランスよく学べる。
  - ② 内容のある具体的なテーマを学習することで、そのテーマについて話すためのことばを身につけて、同時に内容についても深い思考を伴う学習を行える。
  - ③ 語学に特化せず、中身のある題材を通して考えることで興味を持続しやすく、語学学習のモチベーションが維持されやすい。
- なお、今回は久々に英語を使用する子どもたちへの最初のハードルを下げるために、バイリンガル・クリルの方法を取り入れた。母語を使用できるため、教師はすぐに子どもたちがわからないことを把握でき、子ども全員を受け止めて徐々に英語を使う環境をつくることができた。

ワークショップはカリキュラムを二つに分け、前半は「動物と環境」、後半は「世界の偉人」をテーマにして英語で学んだ。

初日、逸見氏は五つのルール(①英語を使う ②対面の場合、相手との距離を保つ ③他人の話を聞く ④宿題をする ⑤他人をヘルプする)を示し、なかでも③と⑤が特に大切だと話した。そして各テ



全体へのプレゼンで、成果を披露

ーマにおいてディスカッションとプレゼンテーションをできるようになることを目標に、綿密なカリキュラムやシラバスのもと前後半各四回の授業を重ねた。

参加した子どもたちは、はじめは緊張していたが、回を追うごとに積極的に挙手をしたり、周りに気を配ったりする様子が多く見られるようになり、最終的には全員が目標を悠々とクリアした。

全日程を終了した子どもたちの感想は満足感にあふれ、保護者からも「子どもが変わった。」「(子どもは)毎回、『本当に楽しかった』と言って、もう少し勉強したい」と逸見先生の動画を見ては内容を説明してくれた「久しぶりに英語に集中している娘を見た」といった喜びの声が聞かれた。

本財団の担当者は「帰国子女といっても、渡航時の年齢や滞在年数、通った学校種等によつては高い英語力を身につけることが困難な場合がある。しかし潜在的には『次世代のグローバル人材』に十分なり得る子どもたちであり、彼らに語学を含めたグローバルマインドを育むチャンスを持つてもらいたい」と話し、今回の成果については「子どももののやる気や力を引き出す講師の能力や参加者の意欲が高かったことが挙げられる」と語った。さらに「日本人学校や受け入れ校等にも普及してほしい。そのためには教員のトレーニングと評価システムの構築が必要だと感じている」と述べた。

### 海外子女の作品が入賞— 第二十五回図書館を使った 調べる学習コンクール (図書館振興財団)

図書館利用の促進と調べる学習の推進のために「調べる学習部門」「調べる学習指導・支援部門」で行われている。

詳細は図書館振興財団のホームページに掲載されている。

<https://www.toshokan.or.jp>



## 海外子女の作品が入賞— JICA国際協力中学生・ 高校生エッセイコンテスト二 〇二一（青年海外協力協会）

開発途上国の現状や開発途上国と日本との関係について理解を深め、国際社会のなかで日本そして自分たちがどのように行動すべきかを考えることを目的としている。詳細はJICA地球ひろばのホームページに掲載されている。  
<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/>

## 海外子女の作品が入賞— 第十二回日本語大賞 （日本語検定委員会）

趣旨は日本語の美しさやことばの力を見つめ直すこと。思いや感情、思考などを読者に伝えるためにことばを駆使し、表現を工夫することで自分という「人間」を知り、他人との関係性、社会とのかかわりを知ることが目的としている。詳細は日本語検定委員会のホームページに掲載されている。  
<https://www.nihongokentei.jp/grandprize/>

## 海外子女の作品が入賞—第十三 回環境教育ポスターコンクール （公益財団法人子ども教育支援財団）

同コンクールは、子どもたちが環境について考え、社会生活のなかでなすべきことを考える機会を持つことで、環境への責任ある行動をとれる態度を育成することを目的として実施されている。詳細は子ども教育支援財団のホームページに掲載されている。  
[https://kodomo-zaidan.net/ourbusiness/career\\_path/poster](https://kodomo-zaidan.net/ourbusiness/career_path/poster)

## お知らせ

### 第49回全国研究大会開催（全海研）

全国海外子女教育国際理解教育研究協議会（全海研）は2022年度の全国大会を8月4～6日、福島市にて開催する予定。テーマは「世界と子どもをひらき、つながり、つむぐ教育をめざして～ネットワークでつむぐ、明日の教育～」。詳細・申し込み  
<http://www.zenkaiken.jp>

### 新規ご入会維持会員

・森ビル株式会社

## 会員を募集（全海研）

全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会（全海研）では、会員を随時募集しています。

「全海研」は在外教育施設（日本人学校等）派遣経験者で結成した唯一の全国組織です。

各都道府県組織と連携して以下の実践・研究に取り組んでいます。希望者は、どなたでも入会できます。

### おもな活動

帰国子女教育の実践的課題の解決、国際理解教育と総合的な学習の単元開発と実践事例集の作成、国際理解教育ワークショップの開催、外国人子女教育の実践的課題の解決とネットワーキング化、子どもたちのための日本語フォーラムの開催など。

在外教育施設派遣登録者および内定者研修の企画・運営・協力、講習・研修に必要なテキストの作成、シニア派遣希望者推薦指定団体として派遣期間終了後に国内で活躍されてきた人のなかでシニア派遣希望者を文部科学省に推薦するなど。

### 会費

【国内会員】4000円（1年間）

【在外会員】1万円（3年未満で帰国した場合は3年間適用）

### 会員の特典

- ①会報が送付されます。
- ②研究紀要が送付されます。
- ③実践、研究の成果を全国大会や地方ブロック大会、研究紀要、実践事例集で発表できます。
- ④海外・帰国子女教育、国際理解教育、外国人子女教育、日本語教育、補習授業校教育に関するさまざまな情報が提供されます。
- ⑤会報やニューズレターで最新の学会、研究会の情報が提供されます。
- ⑥研究事業、研修事業のプロジェクトに参加できます。
- ⑦シニア派遣希望者を推薦します。

入会申し込み方法等の詳細は全海研のホームページをご覧ください。

問い合わせ先

全海研事務局

TEL 03-5696-3358

FAX 03-3804-7432

E-mail [info@zenkaiken.jp](mailto:info@zenkaiken.jp)

URL <http://www.zenkaiken.jp>

挑戦!!

にほんご

# 日本語検定

【語彙編】

正しい散え方を  
考えてみよう。



公式キャラクター  
にほんご

特定非営利活動法人

出題：日本語検定委員会

<https://www.nihongokentei.jp>

## 7級

(小学校2年生レベル)

問

一〜三の( )の中に入る、いちばんよく合う言葉はどれでしょうか。番号で答えてください。

一

この動物園には、二( )のゾウがいます。

- 「① 頭 ② 羽 ③ 名」

二

全校集会では、クラスごとに、男女がそれぞれ一( )になります。

- 「① だん ② 列 ③ 通」

三

公園のとなりの空き地だったところに、家が二( )たちました。

- 「① 台 ② 本 ③ けん」

## 6級

(小学校4年生レベル)

問

一と二は、( )の中の言葉と似た意味を表す言葉を、三と四は、( )の中の言葉と反対の意味を表す言葉を選んで、番号で答えてください。

◎にた意味を表す言葉

一【苦心】

- 「① 苦楽 ② 苦痛 ③ 苦勞」

二【本屋】

- 「① 書店 ② 書庫 ③ 書物」

◎反対の意味を表す言葉

三【少数】

- 「① 分数 ② 多数 ③ 複数」

四【不満】

- 「① 満点 ② 満腹 ③ 満足」



## 5級

(小学校卒業レベル)

問

一～三のようなことを言うとき、( ) に入る言い方として最も適切なものを [ ] から一つ選んで、番号で答えてください。(当てはめるとき、「手を借りる」が「手を借り(て)」となるように、形が変わることもあります。)

一 お店で欲しいと思ったグローブは高価で、小遣いの少ない私には ( ) 。

二 おじがくれたプラモデルは一人で組み立てられず、父の ( ) て完成させることができた。

三 近所の道路工事の大きな音がずっとひびいているので、テストの勉強が ( ) 。

- ① 手を借りる      ② 手が出ない      ③ 手につかない

「手」をぶくむいろいろな言い方を  
取り上げているよ。



## 4級

(中学校卒業レベル)

問

一と二の [ ] の中の二つの言葉は、意味のうえでどんな関係になっているでしょうか。同じ関係になっている組み合わせを一つ選んで、番号で答えてください。どちらの言葉が前で、どちらの言葉が後になっているかということにも注意してください。

一 【入学】—【学校】

「① 入門—校門    ② 入場—出場    ③ 入会—議会  
④ 入社—会社」

二 【訳者】—【翻訳】

「① 学者—博学    ② 記者—書記    ③ 奏者—演奏  
④ 易者—貿易」

2022(令和4)年度第1回日本語検定(準会場)―日本語検定委員会主催

6月10日(金)・11日(土) (海外は9日(木)・12日(日)も実施可)

申込期間…3月1日(火)～5月13日(金)

お問い合わせ・資料請求はこちら

Email info@nihongokentei.jp

URL https://www.nihongokentei.jp

後援…文部科学省／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／

日本PTA全国協議会／日本商工会議所／経団連事業サービス 他

特別協賛…読売新聞社 協賛…時事通信社／東京書籍

# 二〇二一年度『海外子女教育』

## 【総目次】

2021年4月号(第578号)〜2022年3月号(第589号)

### 《今月の顔》

- 4月号 木村佳野(ピアニスト)
- 5月号 竹下隆一郎(ハフポスト 日本版編集長)
- 6月号 中尾弘太郎(国際税務コンサルティング)
- 7月号 青谷優子(朗読家/フリーアナウンサー/英語コミュニケーション講師)
- 8月号 神森真理子(ジャパントラディショナルカルチャーラボ 代表取締役)
- 9月号 田中望(言語学者)
- 10月号 成澤俊輔(経営コンサルタント兼アーティスト)
- 11月号 上地呂敏(音楽家・沖縄伝統音楽伝承者)
- 12月号 門倉多仁亜(料理研究家)
- 2月号 初田美紀子(臨床心理士 一般社団法人「育ちネット」多文化CROSS代表理事)
- 3月号 田淵大(俳優)

### 《特集》

- 4月号 ①学校図書館の魅力 ②民族衣装と私
- 5月号 ①海外でAーに負けない子どもを育てる ②月刊『海外子女教育』流 絵手紙のススメ
- 6月号 「コロナ帰国」それぞれ

### の体験から

- 7月号 ①公立小・中学校における帰国子女教育 ②歴史と文化を救う・伝える―「史料ネット」を支える人々

### 8月号 ①教育相談員座談会 異文化での子育てで大切なこと

- ②からだのふしぎを工作で体験
- 9月号 文芸作品コンクールで時代をふり返る
- 10月号 ①コロナ禍、私立在外教育施設の際では ②アフリカで子育て
- 11月号 第42回海外子女文芸作品コンクール審査結果発表
- 12月号 『海外子女教育』誌の50年
- 1月号 ①帰国子女O.B・OGが語る私の仕事 ②日本のパティシエ物語
- 2月号 ①座談会 帰国生はへこたれない ②日本各地からの帰国生我が校紹介
- 3月号 ①在外教育施設から未来をひらく ②帰国生の母親たちのボランティア―自分たちの体験を多くの人と分かち合う

### 《連載・家族/クロスカルチャー》

- 4・5月号 発達障害児の母が肌

で感じた日米の学校(アメリカ)

- 6・7月号 予想外の出来事が連続の海外生活(南アフリカ・ロシア)
- 8・9月号 行く先々で貴重な体験を(アメリカ・シンガポール)
- 10・11月号 家族四人、それぞれのエルサレム(イスラエル)
- 12・1月号 四人五脚のアメリカ生活(アメリカ)
- 2・3月号 「我が家」をホームタウンに(アメリカ・フランス)

### 《受け入れ校紹介》

#### 《学校会員ファイル》

- 4月号 国際高等専門学校
- 5月号 旭川明成高等学校
- 6月号 栄徳高等学校
- 7月号 東山中学校・高等学校
- 8月号 東洋大学附属姫路中学校・高等学校
- 9月号 福岡雙葉中学校・高等学校
- 10月号 敬和学園高等学校
- 11月号 佐藤学園ヒューマンキャンパス高等学校
- 12月号 樟蔭中学校・高等学校
- 1月号 弘学館中学校・高等学校
- 2月号 新島学園中学校・高等学校
- 3月号 昭和学院中学校・高等学校
- 4月号 コロナ禍で現地校もオンライン授業で、子どもも親もストレスをためがちです。留意すべきことを教えてください。(つちやみちこ)
- 5月号 一時帰国がままならず、帰国後の子どもの学校をどう決めたらいのかかわりません。

### 《聞いてみよう！子どもの教育》

- 4月号 コロナ禍で現地校もオンライン授業で、子どもも親もストレスをためがちです。留意すべきことを教えてください。(つちやみちこ)
- 5月号 一時帰国がままならず、帰国後の子どもの学校をどう決めたらいのかかわりません。

受け入れ校の選び方などについて教えてください。(橋本芳登)

- 6月号 幼児を連れて海外に行きます。日本人はほかにいないようですよ。どう母語を育てていけばよいのでしょうか。(菅原光章)
- 7月号 発達が遅れ気味の小学生の子どもの連れて初めて海外赴任をします。イギリスの現地校に通う予定ですが留意点を教えてください。(御園生直美)
- 8月号 海外暮らしが長くなり、子どもは現地にどっぷりつかっています。日本語も怪しくなってきました。帰国の目は立っていません。このままでよいのでしょうか。(後藤彰夫)
- 9月号 小学生の子どもの連れて帰国します。日本の小学生は塾や習い事で忙しいと聞きますが、その現状と帰国に際しての留意点を教えてください。(中村昌子)
- 10月号 子どもは引込み思案で、現地校でも補習校でも友達をつくれず悩んでいます。どうしたらよいのでしょうか。(清水賢司)
- 11月号 帰国生の多い学校に入信したところ、自分の英語力に自信を失い、やる気をなくしています。どうすればいいのでしょうか。(中山順二)
- 12月号 帰国生枠で受験する予定ですが、私も親も面接があります。どのような準備をしておけばよいのでしょうか。(奥田修也)
- 1月号 インターナショナルスクールに通っていますが、英語も

日本語も中途半端なままでの帰国になりそうです。どうしたらいいのでしょうか。(平彰夫)

- 2月号 現地校、インターナショナルスクール、日本人学校、補習校について、特徴や通わせる際の留意点を教えてください。(植野美穂)
- 3月号 子どもはアメリカの現地校に通っていますが、先生とうまくやれないようです。どうしたらよいのでしょうか。(佐々信行)

### 《海外校シリーズ》

- 4月号 シカゴ/アデレード補
- 5月号 ヤンゴン/サンクトペテルブルグ補
- 6月号 ブラッセル/マイアミ補
- 7月号 サン・ホセ/ブレイメン補
- 8月号 ハノイ/アンカレッジ補
- 9月号 ミュンヘン/ニューカレドニア補
- 10月号 プカレスト/シカゴ補
- 11月号 釜山/グアダハラ補
- 12月号 バハレーン/ヨークシャー・ハンバーサイド補
- 1月号 グアム/マルセイユ補
- 2月号 サンチャゴ/チュニス補
- 3月号 北京/トゥールーズ補
- 4月号 もういいかい―中野真典/ファーマーのはる―ジュリア・ローリンソン/しりとりに安野光雅/ハンカチともだち―なががわちひろ

### 《BOOKS》

#### 《子どもの本棚》

#### 《国際子ども文庫の会》

- 4月号 もういいかい―中野真典/ファーマーのはる―ジュリア・ローリンソン/しりとりに安野光雅/ハンカチともだち―なががわちひろ



6月号 がいこつさん―五味太郎

／はじまりの日―ボブ・ディラン／カエルくんのだいはつけん！―松岡達英／天の川のラーメン屋―富安陽子

8月号 うんちしたのはだれよ！―ヴェルナー・ホルツワルト／ぼんたのじどうはんばいき―加藤ますみ／あつちゃんあがつたべものあいいうえおーさいとうしのお／まほうのゆうびんポスト―やまだともこ

10月号 どきどきオムライス―菊田澄子／くまのコールテンくん―ドン・フリーマン／紙しばい屋さん―アレン・セイ／きつねの窓―安房直子

12月号 ほげちゃん―やぎたみこ／サンタベア―のクリスマス―バーバラ・リード／かさじぞう―瀬田貞二／ベンギンハウスのメリクリスマス―齊藤洋

2月号 おうさまがかえってくる100びょうまえ―柏原佳世子／このほんよんでくれ―ベネディクト・カルボネリ／おばあちゃん

のひなちらし―野村たかあき／すみ鬼にげた―岩城範枝

## 《オスズの一冊》

※(一)内は選・評者名

5月号 にほんでいきる―外国からきた子どもたち―毎日新聞取材班(古家淳)

7月号 デジタルで変わる子どもたち―学習・言語能力の現在と未来―バトラ―後藤裕子(見世千賀子)

9月号 マイノリティデザイン―澤田智洋(牧野百合)

11月号 希望の一滴―中村哲、アフガン最期の言葉―中村哲(多田孝志)

1月号 クララとお日さま―カズオ・イシグロ(松島あおい)

3月号 英語独習法―今井むつみ(服部孝彦)

## 《ニュースお知らせ》

### 《トピックス》

4月号 外務省・文部科学省の二〇二二(令和三)年度海外子女教育等関係予算政府案決まる

1月号 二〇二二(令和四)年度在外教育施設施策の充実に関する決議

2月号 帰国児童生徒数、過去最高から転じて大幅減

### 《ニュース》

4月号 就任挨拶(外務省領事局長

5月号 二〇二二年度新規援助対象校／帰国子女教育を考える会

8月号 二〇二二(令和四)年度在外教育施設予算の充実に関する決議

9月号 就任挨拶(文部科学省国際教育課長)

10月号 「特別支援が必要な子ども」の海外赴任帯同にかかわる不安や心配」等に関する情報交換(海外子女教育専門相談員連絡協議会)

11月号 帰国子女教育を考える会

12月号 就任挨拶(文部科学省国際教育課長)／帰国・外国人児童生徒等の学校での受入れに係る取組について(文部科学省)

1月号 日本型ダンス「S.O.U.S.A.K.U-DANCE」の海外輸出

2月号 二〇二二年度海外子女の教科書について

3月号 海外子女の作品が入賞

## 《本財団関連記事》

4月号 二〇二二年度日本人学校等学校採用教員内定者研修を実施

5月号 二〇二二年度事業計画と予算が決定／文部科学省、海外子女教育振興財団に感謝状を授与／第四十二回海外子女芸文作品コンクール概要

6月号 日本人学校等学校採用教員募集説明会のお知らせ

7月号 第一回経営アドバイザリーコミッティーを開催

8月号 理事会と評議員会をオンラインや書面等を活用して開催／第一回「わたし発、世界着る」(ワタセカ)プロジェクト募集要項／オンラインによる帰国生のための学校紹介動画配信

9月号 学校会員を対象に「オンラインサロン」を開催

10月号 帰国生のための学校説明会・相談会をオンラインで開催

12月号 創立五十周年企画―日本の未来を担う子どもたちを皆さまで育てるために―「維持会員企業・団体セミナー二〇二二」海外子女教育の現状と課題、財団の役割―開催／第二回経営アドバイザリーコミッティーを開催

1月号 年頭のご挨拶―本財団会長小林栄三／維持会員一覧／ただいま何人!?―在外教育施設在籍者数／「日本人学校マジきら会議二〇二二」学校会員連絡協

議会「海外人事担当者セミナー」をオンラインで開催／二〇二二年度「ワタセカ(わたし発、世界着る)」プロジェクト 結果発表

2月号 「VTuberで遠隔合同授業をやってみよう!」ワークショップを開催／日本人学校等学校採用教員第一期募集内定者オリエンテーションを開催／第四十二回海外子女芸文作品コンクール作品集「地球に学ぶ」発刊

3月号 「CLIL ワークショップ」を開催

4・5・6月号

《みんなの広場》

《AG5だより》

4月号 アスンシオン日本人学校による日本語学校でのオンライン出前授業・教員研修の試み(見世千賀子)

5月号 補習授業校の先生方を対象としたオンライン初任者研修(2)(岡村郁子)

6月号 AG5の2020年度の取り組みとその成果(佐藤都衛)

7月号 補習授業校とAG5「補習授業校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発」に参加してきて―(三井知之)

8月号 日本人学校オンライン教員研修／コロナ禍前の環境整備・試行錯誤、そして合同研修の充実へ(マニラ、大連、青島の日本人学校)／(近田由紀子)

9月号 AG5の5年間と補習授業校のこれから(佐々信行)

10月号 「日本人学校における高度グローバル人材の基礎的資質形成のためのプログラム開発」の5年間を振り返る(植野美穂)

11月号 AG5テーマ2「日本人学校におけるバイリンガル・バイカルチュラル人材育成のためのプログラム開発とそのための教員研修のプログラム開発(近田由紀子)

12月号 パラグアイ日系社会とアスンシオン日本人学校の絆を結ぶAG5プロジェクト(平岩佐江子)

1月号 遠隔合同授業に関する実践研究の成果(岸磨貴子・関温理・黒木歩／九鬼武／川上隆／渡辺稔／曾川和則)

2月号 「日本人学校における特別支援教育に関する遠隔支援の実施に向けた実証的研究」の成果(国立特別支援教育総合研究所情報・支援部)

3月号 特集「在外教育施設から未来をひらく」として掲載

《連載・1都2府43県めぐり》

4・3月号

《連載・ことばキャンプ》

4・3月号

《連載・KANJIはおもしろい!》

4・3月号

《連載・挑戦!にぼさんの日本語検定》

4・3月号(日本語検定委員会)

《連載・JOES Davos Next》

2・3月号

編集後記

◆入試シーズンになると受験に失敗した時に恩師から言われた言葉を思い出す。「合格も不合格もすべてがご縁。縁を大切に生きていけば良い人生が待っているよ」、当時は素直に聞けなかったけれど今では、納得。(松)  
 ◆A G 5 の話題はどうしても教育実践研究の話になるので堅苦しくなりがちだが、海外子女教育にとって、そして日本の教育にとって、とても重要で先進的なことが試みられている。是非ともご一読を。(淳)

◆理想論とか絵に描いた餅といわれるものがある。学習の在り方、多様な子どもたちへの視点、先生たちのネットワーク……。A G 5 の活動はそうであったものをいくつも「あたりまえ」に変えてきたと思う。(然)  
 ◆前スウェーデン大使による同国の教育についての講演を聴く。収穫あり。国民性や社会経済の特質が国の教育制度の形成に繋がるということを改めて感じた。比較の視点から日本の教育の利点や改善点を考える契機ともなった。(鳥)

4月号「特集」の予定は…

- 継承語として学ぶ日本語
- 日本切手のデザイン

2022年3月号 No.589

発行 2022年3月1日

定価 本体700円＋税

発行人 綿引 宏行

編集人 島田 誠一

公益財団法人

発行所 海外子女教育振興財団

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4  
愛宕東洋ビル6階

制作協力 Roots International

(株)東京美術

※無断での改変・再販を禁ず。

※本誌購読料は、財団維持会員の場合は会費に含まれます。

■ 投稿募集ほか ■

本誌への投稿や関連情報の提供を随時受けつけています。

お名前とご連絡先を明記のうえ、「月刊『海外子女教育』編集部」宛てとして、E-mail、FAX、郵便のいずれかでお送りください。

◎海外・帰国子女教育、国際教育関連の論文やエッセイ、研究レポート

◎海外・帰国子女教育、国際教育関係の研究発表会などの催しのご案内

◎連載「家族／クロスカルチャー」取材対象家族を募集しています。

海外生活にまつわるご家族のエピソードをお聞かせください。

◎「みんなの広場」タイトル文字、作文・詩・短歌・俳句、習字・イラストなど。

大人のかたの投稿（1200字以内）も大歓迎です。

※掲載・不掲載にかかわらず、作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

※掲載作品に関する著作権は本財団に帰属することとします。

※二重投稿はご遠慮ください。

※お知らせいただいた個人情報は、作品掲載以外の目的では利用しません。

1都1道2府43県めぐり クイズ解答

① A ② D

挑戦！ にほんごの日本語検定 解答・解説

< 7 級 >

一 【正解／①】

ゾウやキリンなど、おもに大きな動物を数えるときは、①「頭」を使います。

二 【正解／②】

前後や左右に順番に長くならんでいるものを数えるときは、②「列」を使います。

三 【正解／③】

家の数などを数えるときは、③「けん」を使います。

< 6 級 >

一 【正解／③】

「苦心」は、ものをうまくなしとげるために、あれこれと考えてくしい思いをすることです。にた意味を表す言葉は、③「苦労」で、困難とたたかって心や体を使い、くしい思いをすることです。

二 【正解／①】

「本屋」は、本を売っている店や人のことです。にた意味を表す言葉は、①「書店」で、本を売っている店のことです。

三 【正解／②】

「少数」は、人やもののかすがすくないことです。反対の意味を表す言葉は、②「多数」で、人やもののかすがたくさんあることです。

四 【正解／③】

「不満」は、自分の思いどおりにならず、もっとこうあってほしいと思うことです。反対の意味を表す言葉は、③「満足」で、自分の思いどおりになっていて、十分であるということです。

< 5 級 >

一 【正解／②】

値段が高くて買うことができない様子をいう、②「手が出ない」が適切です。

二 【正解／①】

仕事など、何かをするときに手伝ってもらふことをいう、①「手を借りる」を使って、「手を借り(て)」とするのが適切です。

三 【正解／③】

ほかのことに気をとられて、集中して物事に取り組みえない様子をいう、③「手につかない」が適切です。

< 4 級 >

一 【正解／④】

「入学」は児童・生徒として「学校」に入ることですから、両者は「一字目が『入』である二字熟語」と、その「入」の対象となる二字目の漢字の意味を表す熟語という関係です。同じ関係になるのは④で、「入社」は社員として採用されて「会社」に入ることです。

二 【正解／③】

「訳者」は異なる言語で書かれたものを「翻訳」する人ですから、「ある行為をする人の名称」と、その行為を表す言葉という関係です。同じ関係になっているのは、「奏者」が楽器を「演奏」する人である、③です。

本誌へのご意見・ご感想をお待ちしております。

海外子女教育振興財団 月刊『海外子女教育』編集部

●E-mail kikanshi@joes.or.jp

●TEL 03-4330-1350／FAX 03-4330-1355

●URL <https://www.joes.or.jp>

【国内購読料】 1カ月770円：1年間9,240円  
 ※バックナンバーの販売もしています。

【海外購読料】 1カ月950円～1,050円：1年間11,400円～12,600円



# ★ ユニヴァプレス

<https://univpressnews.com/>



東大合格者速報でおなじみの  
大学通信が発信する学校情報。  
わりと真面目に教育と学校と  
その他の情報について  
発信しています。

## WEB限定記事

- 生徒が主体的につくりあげる駒場  
東邦の学校行事修学旅行先はプレ  
ゼン大会を通じて自分で決める！
- 日本一「面倒見の良い」女子大  
学、岐阜女子大学に行ってみた！
- 「福祉」ってなんだろう？  
東北福祉大学で聞いてみた。
- 専門家に聞いた！  
理学療法士ってどんな仕事？

…etc



学 び を 未 来 へ  
**大学通信**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-3  
TEL.03-3515-3591(代表) FAX.03-3515-3558  
<https://univ-online.com/>

大学通信の情報力を集結した

# 大学通信

O N L I N E

<https://univ-online.com/>

受験シーズンの話題を独占する「高校別大学合格者数」情報をはじめ、大学入試・進学に関する最新データやトピックスを

**いち早く公開!**



学 び を 未 来 へ

**大学通信**

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-3

TEL.03-3515-3591(代表) FAX.03-3515-3558

<https://univ-online.com/>